

# JADELA Logo & Mark Production Committee 2024

---

デザインと法協会 ロゴ・マーク制作委員会2024

【実践編】



デザインと法協会  
JAPAN DESIGN & LAW ASSOCIATION

### 【ロゴ・マーク制作委員会開催にあたって】

デザインと法協会も4年目を向かえ、設立当初より懸案だった、  
ロゴ・マークを会員と共に考えて制作することになり、  
また、法関係者がデザインを知る一つの切っ掛けにもなる。  
このことから委員会を設置することになりました。  
本編ではロゴ・マーク制作委員会において各委員の議論の過程を  
理論編としてまとめました。

### 【ロゴ・マーク制作委員会(2023年～2024年)】

デザインと法協会は、2023年2月15日、第1回ロゴ・マーク制作委員会を立ち上げました。当会においては、デザイナーが主導する初めての大きなプロジェクトとなりました。立ち上げ以降1年以上にわたり、デザイナーと法律関係者（企業・研究を含む）が一緒になって、デザインと法協会のロゴ・マーク制作にチャレンジしてきました。本稿では、委員会がこれまでどのような議論をしてきたかを理論編としてご紹介します。

### 【デザインと法協会の設立目的】

わたしたちは、デザイナー・企業・弁理士・弁護士・学者など、デザインに関わりを持つ人たちが一堂に集い、お互いに学び合い、新しいデザインの世界を作ることを目指して、「デザインと法協会」を設立します。デザイナーの団体は多数あり、知的財産専門家が集う場も多数あります。しかし、両者が集まり、お互いの知見を交換する場がありません。「デザインと法協会」は、職域の壁を取りはらいます。

### 【デザインと法協会のスローガン】

デザインに関わる人たちが一堂に会し、職域の壁を超えてムーブメントを引き起こし、日本のデザインの価値を高め、世界に発信していきます。

### 【デザインと法協会の設立趣意】

今日の日本は、急速なグローバル化や少子高齢化、またAIやIoTを中核とする技術革新による社会変革の影響を受け、産業構造のみならず文化や生活に至るまで、様々な場面において大きな転換期を迎えている。こうした先行き不透明な環境下において、日本が新たな成長ステージに移行し、より豊かな国民生活を実現するためには、従来型の思考に囚われず新たな発想で積極的にチャレンジし、イノベーション（革新）を実現することが不可欠である。イノベーションの実現には、デザインが大きな役割を果たす。デザインは私たちが大切にしている価値観や思いをカタチにするものであり、デザインを通じて国内外に対して強いメッセージを発信することができる。そして、今後の社会環境の変化によって生じる、様々な課題を解決するための有効な手段となり得る。私たちは、このデザインが持つチカラを最大限に活用したいと考える。そこで私たちは、デザインに関わる様々な立場にある者が一堂に会し、デザインとそれを保護する法制度の重要性を再認識し、その積極的な活用を通じて日本の持続的な発展と、より豊かな国民生活の実現を図ること

を目的として、行政や他の関連団体との連携を図りつつ、国内外に対する提案活動や啓蒙活動等を行うために、ここに「デザインと法協会」を設立する。

※今後、ロゴ・マークを考えるにあたり上記を基本として委員会は議論を進めることとなる。

## 【委員会の活動趣旨】

### ■ロゴ・マーク制作の目的

私たちが人間ひとりひとりの顔を認識し親近感を持つように、組織にとってはロゴ・マークが「顔」の役割を果たします。ロゴ・マークは組織の信頼感を得るためには欠かせないものであります。ロゴ・マークは、宣伝や広報目的にも使われる他、組織のアイデンティティの一環として、また一般の人にも強く印象付ける有効な手段であります。今現在、本協会にはロゴ・マークはありません。

### ■ロゴ・マーク制作委員会の方向性

デザインと法協会の設立の目的、スローガン及び設立趣旨に基づき、立場の違う会員一人一人が考え、その思いを可視化し、互いに学びあうことが最大の目的である。デザイン関係者と法関係者が時間をかけて話し合い一つの形に結晶化すること目指します。

### ■委員会スタートにあたって

私たちが初めに考えたことは、本協会の設立の目的にもある「両者が集まり、お互いの知見を交換する」このことから、デザイン関係者と法関係者がお互いの知見を交え共に学び合うことから始めたいと思い、委員会のスタートはまずセミナーを開くことだと考えました。

## 【ロゴ・マークの特質】

### ■ロゴ・マークの必要性

ロゴ・マークは、この協会を社会にアピールするために効果的なツール。

ロゴ・マークが魅力的であれば見る人は組織の良いイメージを視覚的に記憶します。

## 【ロゴ・マーク制作委員会の活動経緯】

### ■第1回ロゴ・マークデザインセミナー 2022年12月8日

○会員公開 Zoom開催

○講義:「CI&ブランド戦略とロゴ・マークの価値」 中西元男

○会員参加型のロゴ・マーク制作委員会のメンバー募集 平野吉雄

○中西先生の講義

・組織のシンボルの意味とその役割としてどう捉えるかが重要である。

・高度情報通信時代 (ICT+AI) おいて、情報価値がとても重要である。

・情報価値の伝え方として二つの方法ある。 1.意味を伝える。 2.感覚で伝える。

・感覚訴求型のロゴ・マークを期待する。

・社名をシンプルに表現することが大切である。(例:3M,IBM)

・良いデザインを取り入れることで良いビジネスができる。

※キックオフのセミナーとしてはCIの開拓者で多くの企業ロゴ・マークを手がけられた中西先生の初回セミナーは大変意味深い公演になりました。組織において、ロゴ・マークの大切さを語る。

・ロゴ・マーク制作委員会メンバー募集を行った。

・ロゴ・マーク制作委員会のメンバーは本協会の会員から募集。

・「ロゴ・マークを皆様と一緒に考えましょう!」というテーマで呼びかけた。

・委員会メンバーの人数12名前後とします。

### ■第2回ロゴ・マークデザインセミナー 2022年12月15日

○会員公開 Zoom開催

○開会の挨拶 ロゴ・マーク制作委員会 井上和世

○講義:本協会に必要なロゴ・マークとは? 平野吉雄

○会員参加型のロゴ・マーク制作委員会のメンバー募集 平野吉雄

・ロゴ・マークの必要性

ロゴ・マークは、協会をアピールするために効果的なツール。ロゴ・マークが魅力的であれば人は良いイメージを視覚的に記憶します。

・ロゴ・マークとは? 人が顔を認識し親近感を持つようにロゴ・マークは「顔」と同じ役割を果たします。

・ロゴタイプを覗ただけでどんな会社かどんな商品かが頭に浮かぶ。 ・人は文字よりも絵を素早く記憶します。

・ロゴ・マークが今、組織に必要な理由は? ・基本的な企業のロゴ・マーク制作手順 ・ロゴ・マークの種類

※会員であればどなたでも参加できます。メンバーはロゴ・マークのコンセプトを作り、ラフを描くデザインの仕上げはデザイナーにお願いします。

## ■第2回ロゴ・マークデザインセミナー 2022年12月15日

### ■ロゴ・マークとは？

人が顔を認識し親近感を持つように本協会にとってもロゴ・マークが「顔」と同じ役割を果たします。ロゴ・マークは人の信頼感を得るためには欠かせない。大組織ほどロゴ・マークの効果を活用しています。

### ■ロゴタイプを観るとその背景が浮かぶ

ロゴタイプを観ただけでどんな会社かどんな商品かが頭に浮かぶ。これがロゴタイプの効果。

### ■文字より絵？

人には文字よりも絵を素早く記憶し、ずっと忘れない性質があります。

### ■人は文字よりも絵を素早く記憶する

人には写真や絵や人の顔など記憶し、ずっと忘れない特性があります。人は企業や商品を選ぶ時、マークと良い印象を同時に記憶します。その後ロゴだけで「あのブランドだ」と反応します。そして、時間と共に良いイメージが定着し、信頼に繋がります。この協会会員の一人一人も意識して共有することでより活動意欲を高めたり、会員の良いモチベーションになると思います。

### ■マークとロゴタイプの意味？

マーク (mark)

一目で意味を伝える記号・しるし・標章・図案等のこと。文字も図案化・装飾化した場合にはマークと呼ぶこともある。表記が小さくても大きくしても目立ち伝える能力にたけているもの。

### ■ロゴタイプ (logotype)

ロゴタイプは、図案化・装飾化された文字のこと。組織名・商号・商品名・雑誌名・書籍名などを印刷・表示に使う。

### ■ロゴ・マーク (logomark)

日本：ロゴタイプとシンボルマークを組み合わせたもの。

英語圏：logomark は日本と違い、マークの意味。logo は logotype と logomark を組み合わせたもの。

### ■ロゴ・マーク制作のポイント

ロゴ・マークは、この協会を可視化するためのコンセプトを作りそれを元に作られたロゴ・マークは社会にアピールするための有効なツール。

ロゴ・マークが魅力的であれば、見る人は組織の良いイメージを記憶します。

### ■ロゴ・マークが今、組織に必要な理由は？

●他協会との差別化を図るために

●会員に愛されるために

●良いイメージが直感的に伝わるように

※本協会の会員が一つにまとまるためと対外的に協会の良い印象を得られます。

### ■より効果的なロゴ・マークにするために？

協会の質が高いと認められれば、ロゴ・マークが認知され協会自体に価値がつくようになります。

ロゴ・マークを見ただけで信頼感を抱いてもらえるようになる。より効果的なロゴ・マークにするためには「協会会員の思いが一つになる」「社会に対し広報媒体を使いアピール度をアップする」このことが大切であります。

### ■世界のロゴ・マーク

ブランドのロゴ・マークに隠された思いやメッセージがある。ブランドには今までの歴史、立地、目的などストーリーが込めてある。これがきっかけで会社が誕生したなどの深いストーリーがあるとロゴ・マークも一層良いモノになりロゴ・マークにも愛着が持てます。

### ■世界のロゴの歴史の一部

1876年 世界で初めて商標登録されたロゴとして、イギリスのBass Brewery バス・ブリュワリーというビール醸造会社のロゴが有ります。これが現代のロゴの始まりと言われています。

1956年 デザイナーの多くは、ロゴはシンプルで分かりやすく、覚えやすいものが良いと気が付き始めます。これは、ポール・ランドによるIBMのVIでのロゴデザイン。

2007年 デジタルデバイス普及などの時代の変化で、ダイナミックな3Dロゴが流行します。

2013年 今のトレンドは、3Dロゴデザインからフラットデザイン2Dに移行。アップルの新コンセプトIOS7 深く揺るぎない美しさはシンプルさ、明確さ、効率の良さ。



## ■会員参加型のロゴ・マーク制作委員会のメンバー募集 2022年12月15日

○ロゴ・マークを皆様と一緒に考えましょう！

ロゴ・マーク制作委員会メンバー募集 募集定員12名前後 応募内容 ロゴ・マーク制作委員会参加希望締切

2023年1月10日 宛先 デザインと法協会 事務局

○イメージキーワードを会員から募集

ここでのイメージキーワードとは、会員が協会の過去、現在、未来のイメージを言語化したもの

## ■会員参加型のロゴ・マーク制作委員会のメンバー募集締切 2023年1月10日

○委員会メンバー参加者11名。後に2名参加となり、13名の委員が決定する

決定メンバー：平野吉雄 委員長(グラフィックデザイナー) 井上和世 副会長(プロダクトデザイナー)

安立卓司(弁理士) 伊藤真(弁護士) 小堀謙治(企業法務、知財) 齊藤良平(弁理士) 坂口昌子(弁護士)

末宗達行(教職、法律関係) 田中咲江(弁理士) 徳永弥生(弁理士) 林裕也(グラフィックデザイナー)

平野隼太郎(グラフィック・ディレクター) 堀越 敏晴(プロダクトデザイナー) 以上13名

○イメージキーワード 22ワードが集まる。

## ■会員からのイメージキーワード

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1.デザインを法で守り、法を適切にデザインする。             | 12.未知なる可能性                                  |
| 2.デザインを(法的な保護により)サステナブルな資産へ          | 13.ストーンヘッジは可能性・創造性を高める象徴。                   |
| 3.デザイン価値を継続的に向上させる長期的取り組み。           | 14.豊富な知性領域をもつ両者が情熱をもって交流すること。               |
| 4.対話                                 | 15.パラダイム変換とデザイナーの新たな活動領域。                   |
| 5.領域横断                               | 16.投資の保護から本来の創作の保護へ・・・創造立国。                 |
| 6.デザインと法のハイブリッドな挑戦。                  | 17.多様な知財戦略ビジネスモデル。                          |
| 7.知的財産の未来へ誘うデザインコンサルジユ。              | 18.産業の主軸変化にふさわしい制度。                         |
| 8.新しい場づくりが協会のミッション。                  | 19.異質なもののどうしの調和(融合ではない)                     |
| 9.双方の得意分野を知り、互いがそこから交流を拓ける場。         | 20.特許庁や弁理士会のような意味訴求的なマークではなく、感覚訴求的なマークがよい。★ |
| 10.(相乗効果)~新しい協会の価値創造を通じて、拓がる効果をつくる～。 | 21.マークに馴染むようなロゴタイプがあるとよい。★                  |
| 11.「デ」と「法」が分かるように入っているマークがいいと思います。★  | 22.アットホーム ★は具体的な希望                          |

## ■第1、2、3回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2月15日～4月20日

- ・委員会メンバー自己紹介
- ・会委員からのイメージキーワードの検討
- ・各委員の考える理念やコンセプトの検討

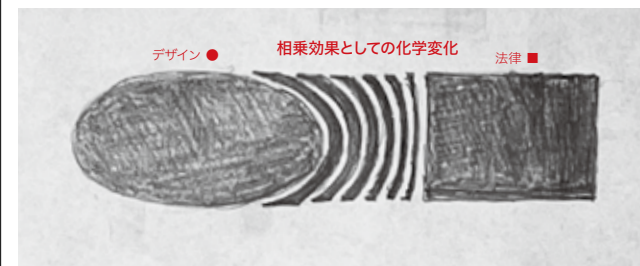
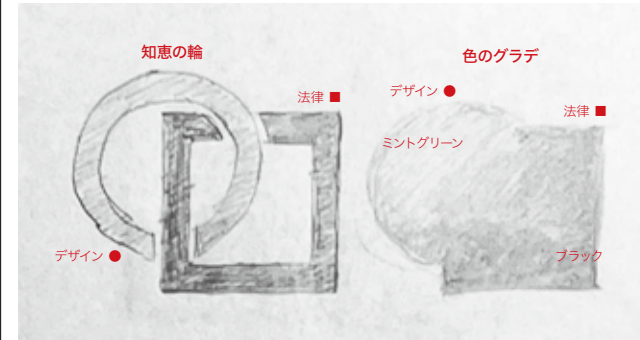
※以上の事柄から実践作業は第4回委員会からとなります。

※上記の具体的な検討内容は理論編に記載。

## ■第4回ロゴ・マーク制作委員会 2023年5月18日 Aグループ 委員のラフデザイン案

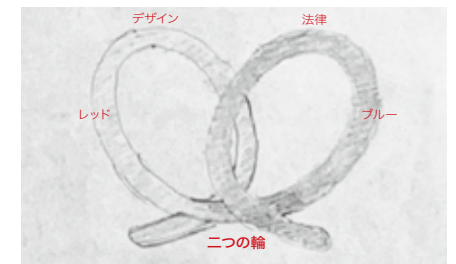
### デザインコンセプト1 二つの均整・二つの共創・二つの価値

二つの相違う価値をバランス良く一つのマークとして表現するかをテーマにした。マークとしては極シンプルに表現することで見る人への印象を高める狙いがある。小さく使っても大きくしても印象の変わらない印象のマークとなっている。二つとはデザイン○、法律□とし、自由で新しさを創造するデザインを目指す。



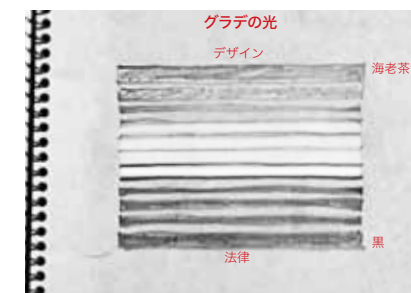
### デザインコンセプト2 二つの均整・二つの共創・二つの価値

デザインと法律の共通価値として「知的財産」テーマにした二つの知見をどう表現するかを考えた。二つの要素をどのようにシンプルかつ印象的にまとめること、それは人にとって優しく親しみが持てるデザインとなること。デザインの輪から法の輪と繋がる形をマーク化し、二つの輪は仲良く一つのハートの形になるようにデザインした。



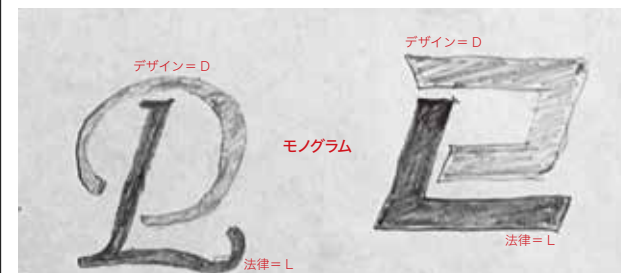
### デザインコンセプト3 二つの均整・二つの共創・二つの価値

デザインと法律の二つの相違う価値感をどう一つのモノとして表現するかを考えた。二つの既存の分野がグラデーションで互いに結びつく様をマークでデザインした。デザインは上のグラデ、法律は下のグラデとし、交わる部分に意味を持たせ一筋の大切な光を感じるように設計。デザインの知的財産を守ることを光でイメージ表現。

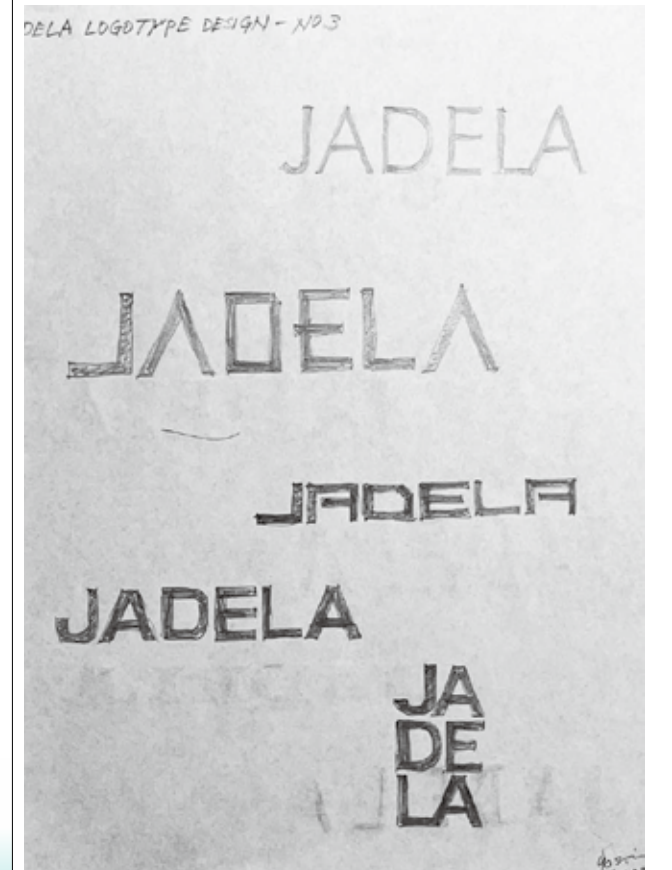


### デザインコンセプト4 二つの均整・二つの共創・二つの価値

「知的財産」が互いの共通テーマなので、二つをどのように融合するかをデザインで表現した。モノグラムとして Design の頭文字の D と Law の頭文字の L を融合させたマークを制作し、デザインはスピーディに動く協会と言うイメージになるようにデザインした。よりシンプルに表現することで見る人への印象を高める狙いがある。

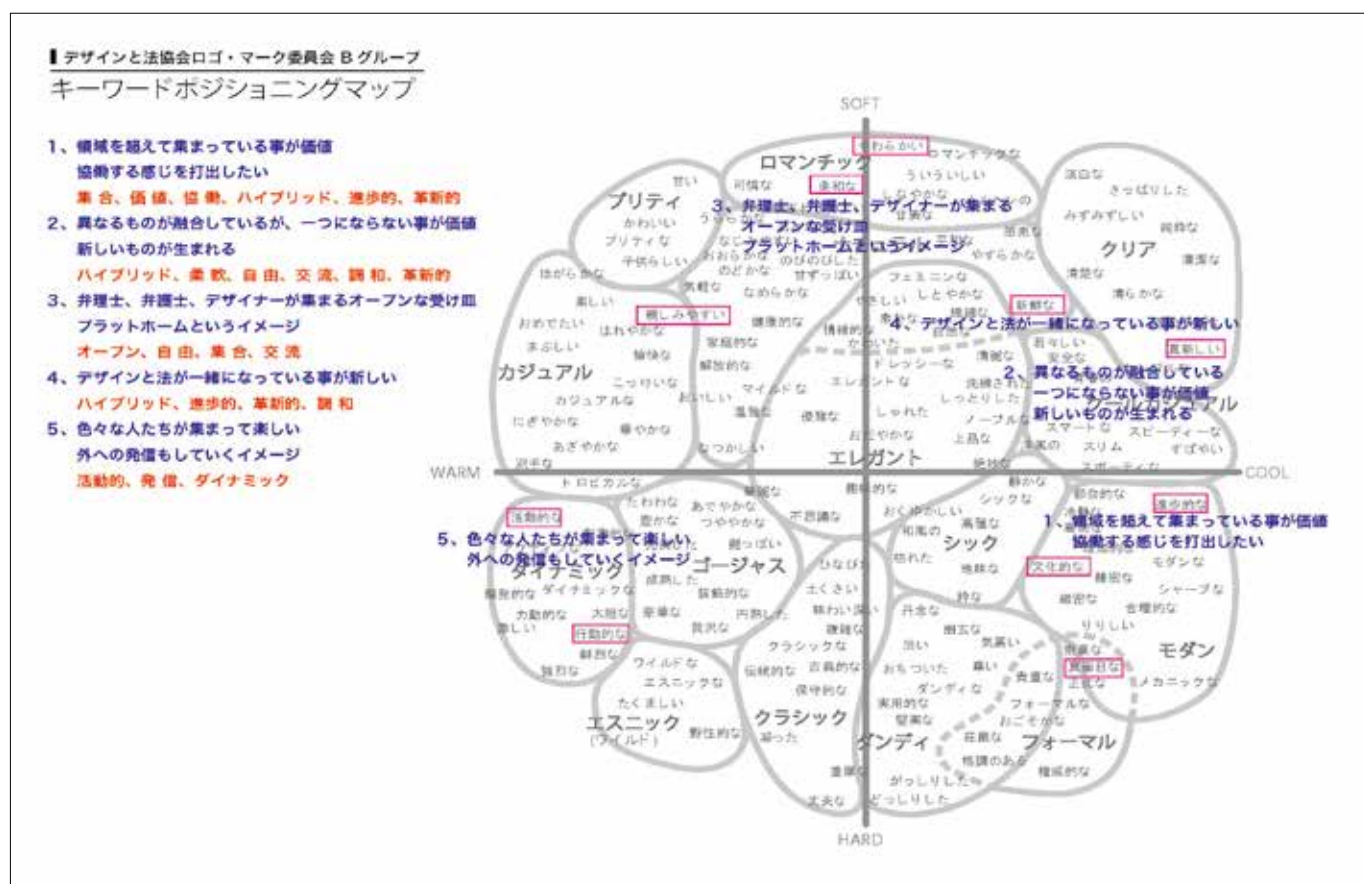


### ロゴタイプデザイン3





■第4回ロゴ・マーク制作委員会 2023年5月18日 Bグループ ワードマップと各委員のラフデザイン案



■第5回ロゴ・マーク制作委員会 2023年6月13日 Aグループ 平野湊太郎リーダーの理念案

デザインと法協会

ロゴ・マーク委員会 Aグループ

コンセプト案 検討

デザインと法協会

理念

デザインの均整、法の均整によって、  
均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。

行動指針

1. デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。
2. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。
3. デザインと法の意義を、国内、海外において継続的に向上させる。

デザインと法協会

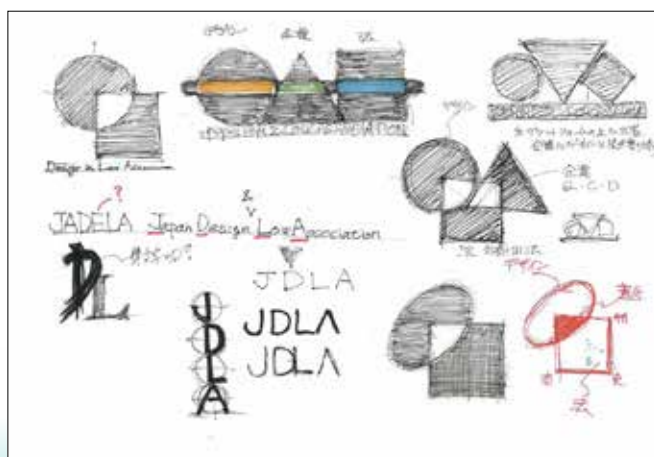
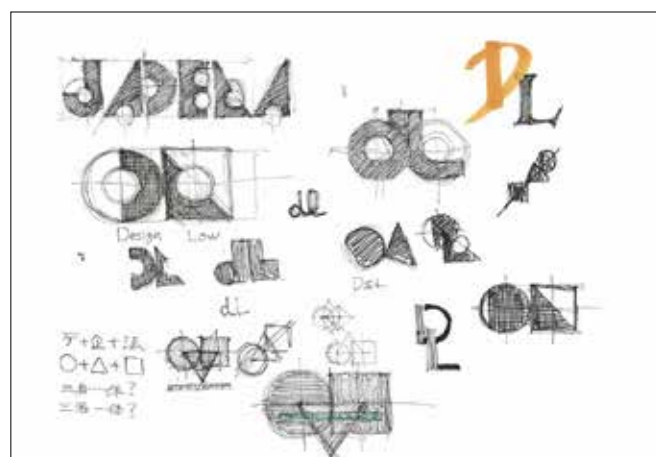
理念

デザインの均整、法の均整によって、  
均整のある日本の社会創りに貢献します。

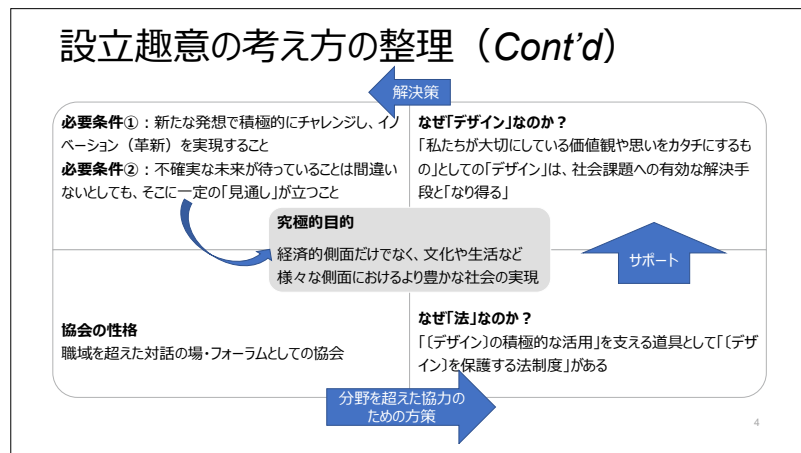
行動指針

1. デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。
2. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。
3. デザインと法の意義を、国内、海外において継続的に向上させる。

2023 06 13



■第5回ロゴ・マーク制作委員会 2023年6月13日 Aグループ 末宗委員のコンセプトとラフデザイン案



## キーワード

究極的目的や必要条件から

- より豊かな社会の実現／社会におけるイノベーションの実現

なぜ「デザイン」なのか？「法」なのか？

- 社会課題への有効な解決手段としてのデザイン
- デザインの積極的な活用を支える手段としての法制度

協会の性格

- 職域を超えた対話の場・フォーラム

あくまでも「デザイン」と「法」をテーマとするのは、より豊かな社会を実現するため  
 →それら2要素にとどまらない表現があった方が良い？

こうした考えからすれば、「デザイン」と「法」は、等しい価値を持つというよりも、一方が他方を支える関係にあるのでは？  
 →それを示す形態を採用することもあり得る？

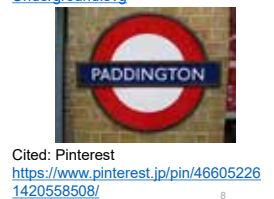
対話の場であることも示した方が良いであろうが、あくまで「目的を実現するための具体的手段・方策」に過ぎない

5

## ロゴ・マークのラフ案作成にあたって

- 「職域を超えた対話の場・フォーラム」であることをまず示す  
 →デザイン関係者、企業関係者、法律関係者の主に3種類の属性が集まっていることを示す

- 素人なので、複雑な造形ができない  
 →簡単な幾何学図形と文字で何とかしたい。  
 文字については、末宗が好んでいるロンドン地下鉄のロゴ・駅名標記のフォントを用いたかった。  
 →近似フォント「P22 Underground Medium」  
<https://fonts.adobe.com/fonts/p22-underground#fonts-section>



## 末宗・ラフ案

デザイン創作を促進し、それを法制度が支える  
 →並列に1行で並べず、DesignをLawよりも上部に配置

色彩を付すことも考えたが、印刷物などへの利用を考えて、白黒にした



白い丸：デザイン関係者、企業関係者、法律関係者の主に3種類の属性

イノベーションの促進と、より豊かな社会の実現を象徴するために、前進・左上方へ移動しているイメージ

■第6回ロゴ・マーク制作委員会 2023年7月18日 Aグループ 各委員の理念案と最終案

## 各委員の理念案

### ●末宗さんの案

デザインと法が有する「価値実現」の力を最大限発揮させ、より豊かな社会を実現します。

#### 行動指針

1. デザイン関係者、企業関係者、法律関係者の三者が対話し、討論する場を提供します。
2. より良いデザインの創作を促す法のあるべき姿を構想、実現していきます。
3. デザインと法の力によって、不確実な社会において、日本の未来を切り開いていきます。

### ●安立さんの案

デザインと法が響創できる場を提供することによって、創造立国としての日本の発展に貢献します。

### ●平野リーダー案

デザインと法の均整を通して、日本の共創社会、創造立国の発展に貢献します。

#### 行動指針

1. デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。
2. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。
3. デザインと法の社会的価値を継続的に向上させる。

デザインの均整、法の均整によって、均整のある日本の社会創りに貢献します。

#### 行動指針

1. デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。
2. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。
3. デザインと法の意義を、国内、海外において継続的に向上させる。

#### 追加のワード

デザインを法律で保護し、日本の社会に貢献します。  
 デザインと法律の共創で、日本の社会に貢献します。

### ●小堀さんの案

デザインに関わる者の交流を通じた共創により、デザインを法で保護し、その価値を高める活動を通じて、豊かな国民生活の実現に貢献します。

#### 行動指針

1. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供します。
2. デザインを適切に守るための、あるべき法律を検討し、提案していきます。
3. デザインをサステナブルな資産として捉えるように社会に啓蒙していきます。

### ●田中さんの案

デザインと法とが共創し、均整のある日本の社会創りに貢献します。

ロゴ・マークを制作するためのコンセプト（理念）

「均整」「共創」「響創」「保護」「価値実現」のキーワードの検討

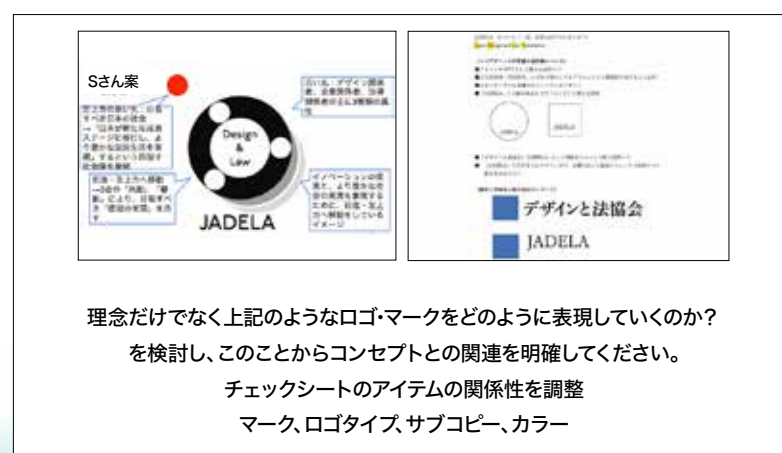
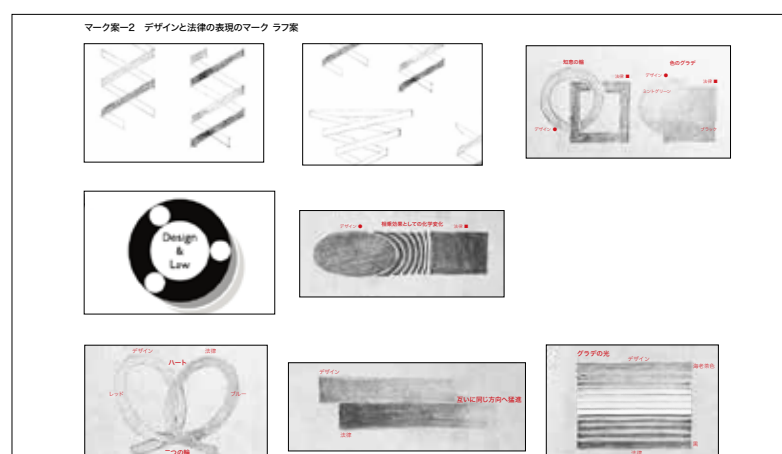
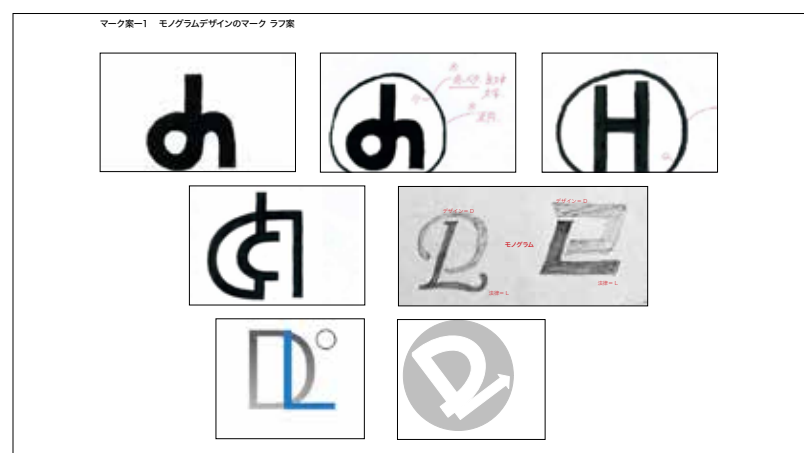
## ロゴマークのためのコンセプト(理念) 最終

デザインと法とが共創し、均整のある日本社会に貢献します。

デザインと法の響創により、日本の社会に貢献します。

デザインと法の共創で、日本の社会に貢献します。

■第6回ロゴ・マーク制作委員会 2023年7月18日 Aグループ 各委員のラフデザイン案



■第6回ロゴ・マーク制作委員会 2023年7月18日 Bグループ コンセプトとダグラインコピー案

■創ると護るの相互作用

→→ “創護作用”という新しい言葉

→→創護作用という新フレーズと他のワードを組み合わせる

“創護作用のプラットフォーム”

“共生の創護作用”

“創護未来のプラットフォーム”

弁護士、弁理士は護るだけの職能ではないという意見から、  
知財の“財”、蓄積の“蓄”などの案・・・“未来”がふさわしいという合意。

■Bグループとしてのデザインと法協会のフレーズ（タグラインコピー）

創護未来のプラットフォーム

シグネチャー（Signature）のシミュレーション

マーク  
創護未来のプラットフォーム  
**JADELA**  
デザインと法協会

マーク  
創護未来のプラットフォーム  
**デザインと法協会**  
**JADELA**

Bグループ コンセプトおよびロゴタイプデザインのイメージ

皆で楽しく集まり、発信していく … “創護未来のプラットフォーム”

■ロゴタイプ・マークのイメージ（＝デザイン評価規準）

\* イメージ的クライテリア

- ・やわらかくかつこいい⇔硬くない
- ・真面目さが出過ぎない
- ・濃い青でない
- ・人が集まる（プラットフォーム）イメージ
- ・未来（創作者と法律家がつくる）らしさ

\* 機能的クライテリア

- ・登録性
- ・（誰にでも）意味が伝わること
- ・視認性が良いこと
- ・名刺、ステーションナリー、ネット画面などでの再現性

Bグループ デザイン規準（評価軸）

機能クライテリア

- ・（商標）登録性
- ・だれにでも意味が伝わる
- ・視認性
- ・（さまざまな媒体での）再現性

イメージクライテリア

- ・（硬くない）柔らかさ
- ・真面目さが出過ぎない
- ・（人が集まる）プラットフォーム
- ・未来（創作者と法律家がつくる）感





■第6回ロゴ・マーク制作委員会 2023年7月18日 Bグループ 各委員のラフデザイン案

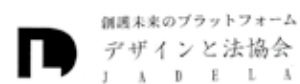
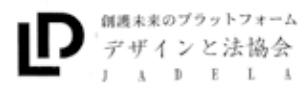
弁理士・徳永さんの案



弁護士・伊藤さんの「DとLが踊っている」というイメージをスケッチにしたもの



## 弁護士・伊藤さんのイメージ

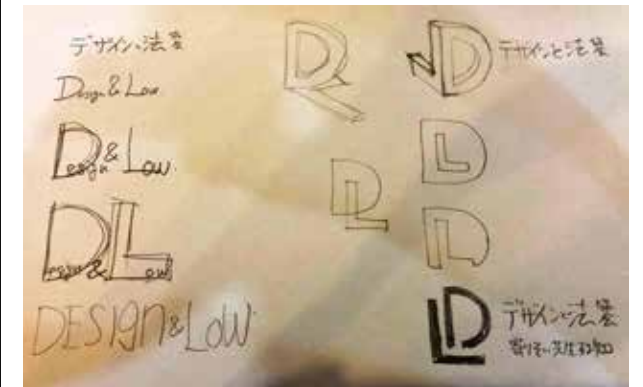


弁理士・齋藤さんのイメージ



■第6回ロゴ・マーク制作委員会 2023年7月18日 Bグループ 各委員のラフデザイン案

デザイナー・林さんのイメージ-1



## デザイナー・林さんのイメージ-2



堀越のイメージ-1



2頭の霊獣カイチをイラストにしたもの



## デザインと法

## 霊獣カイチ

## “法”という漢字

「法」に「さんずい」が付いているのは、

本字は、会意。水と、鷹(ち) (古代の裁判に使われた神聖な動物) と、去(さる) とから成り、神獣 獬豸の聖断で悪事を去る「のり」の意を表す。

諸説あり

1. 言葉を判断できている**富貴カイチ**とを組み合わせている。「水」は「水平」の意味で、基準・標準を表している。
2. 前後を判断できている**富貴カイチ**と、基準・標準とを組み合わせて、世の前後の標準を示す「法」という漢字ができていく。
3. この意味、またをみるべく自ら作り出され小島に、富貴カイチを置いて、いむを閉じ、  
そうして、たとえ富貴といえども自由に動けることではできないわけ、  
こうすることで、私たちの生活に現れる「法」という意味になる。
4. 古中国の戦国時代には富貴カイチと二用していた。よほどに言えば、  
終極的・最終的に「臣すカイチ」がひかれる。このことを争うと勝った方が裁判も勝利する。負けたり負け、敗れつづけたら富貴は、  
文字通り、水に流れていく。「水」を表している。



出典  
<https://log.goo.ne.jp/enk/0528/e/9120635875d53e0963730c3108c77c3>  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9D%A4%E8%B1%B8>



第6回ロゴ・マーク制作委員会 2023年7月18日 グループチェックシートと年間スケジュール

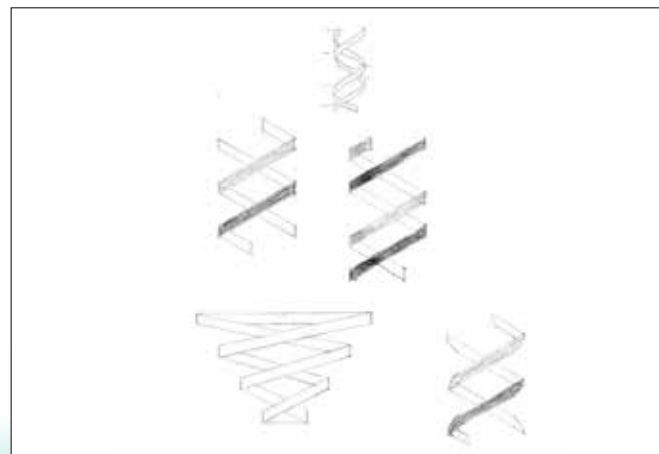
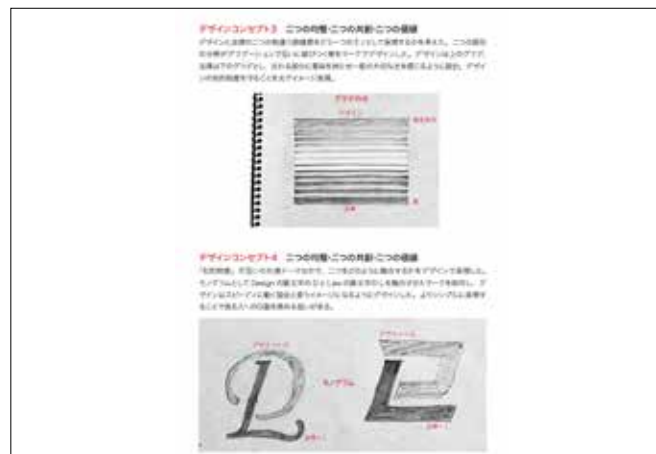
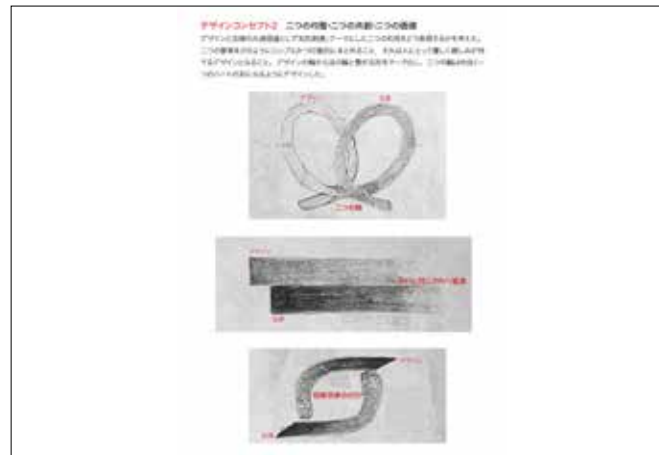
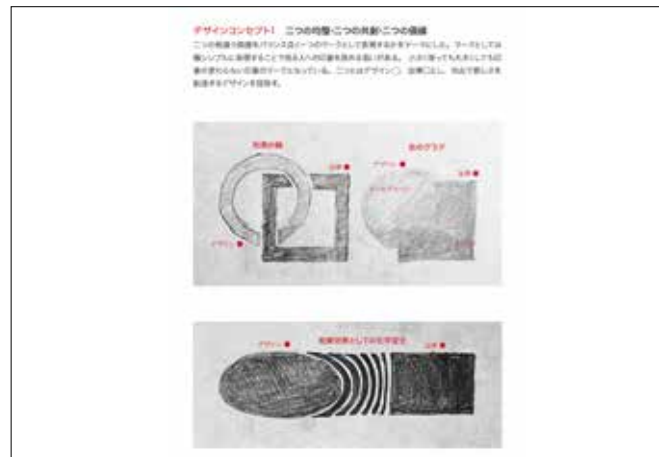
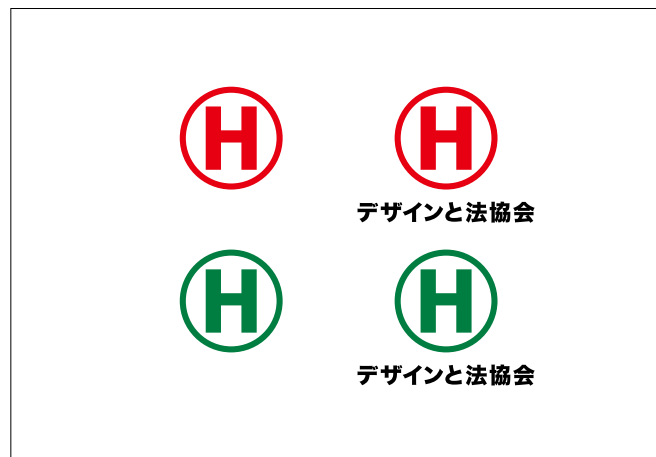
ロゴ・マークのグループチェックシート		A B グループ
<p>■理念やタグラインコピー？ 有、無</p> <p>■マークデザイン？ 有、無</p> <p>■ロゴタイプデザイン？ 有、無</p> <p>■ロゴタイプの文字？ 有、無 JADELA デザインと法協会 他</p> <p>■リードコピー？ 有、無 JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION 他</p> <p>■協会のイメージカラー？ 有、無</p> <p>■統一する和文、英文書体？ 有、無</p>	<p>■ロゴ・マークの展開？ 有、無</p> <p>●名刺？ 有、無 ●封筒？ 有、無 ●看板？ 有、無</p> <p>●ホームページ？ 有、無 ●広報印刷物？ 有、無</p> <p>●メルマガ？ 有、無 ●SNS？ 有、無 ●他</p> <p>■マニュアル（仕様書）？ 有、無 基本的な内容？</p> <p>■マニュアル（仕様書）印刷？ 有、無</p> <p>9月委員会にて担当者決定 ■デザイナー 誰？ ■商標調査 誰？</p>	
<p>備考</p>		
各グループ2023年9月委員会にて提出		

■ロゴ・マークの制作意義：デザインと法協会のビジョンを社会に伝え広めるためのロゴ・マーク制作。日本社会の未来のために内外に本協会の活動を知って頂く。																								
デザインと法協会 ロゴ・マーク制作スケジュール 2022ー2024 各月1回の委員会開催(ロゴ・マーク・審議)																								
Month	2022 12	2023 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024 1	2	3	4	5	6	7	8			
セミナー	●12月8、15日の2回ロゴ・マークセミナー開催																							
イメージキーワード	5月決定																							
コンセプト	8月決定																							
ロゴタイプ	12月決定																							
マーク	12月決定																							
デザイン展開	3月決定																							
デザインプレゼン&講評会(公開)									●8月コンセプト案発表				●12月デザイン案発表				●3月デザイン&マニュアル案発表							
デザインと法協会理事会									●8月コンセプト承認				●12月デザイン承認				●3月デザインとマニュアル承認							
総会									●6月今までの活動報告												●6月デザイン報告			
※上記の決定はあくまで予定で、必要に応じて変更可能。上記スケジュールはA,Bグループともに共通																								
マーク▶制作の有無 イメージ?コンセプトとの整合性? ロゴタイプ▶制作の有無 文字は和文?英文?スペル? デザイン展開▶制作の有無 何に使う?名刺、封筒、看板、ホームページ、etc																								
マニアル(仕様書)▶制作の有無 マーク、ロゴタイプ、使用する英文・和文書体、色などの仕様書? マニアルの詳細については後日、決定したデザインで検討のこと。																								

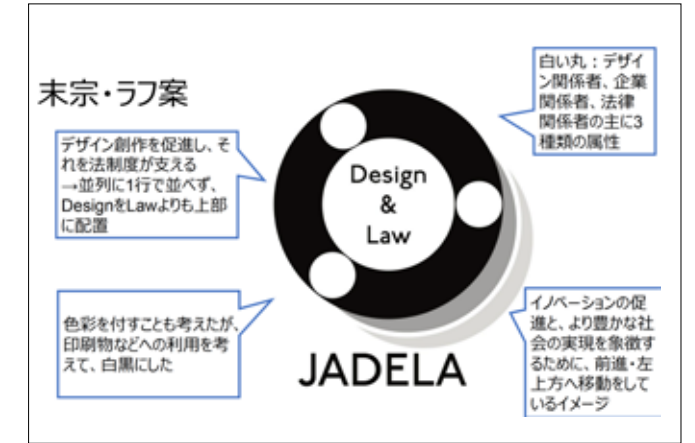
第7回ロゴ・マーク制作委員会 2023年8月17日 Aグループ発表 平野隼太郎リーダーの理念とラフデザイン案

デザインと法協会	※ 平野 隼太郎 案	デザインと法協会	※ 田中 咲江 案
理 念	デザインの均整、法の均整によって、 均整のある日本の社会創りに貢献します。	理 念	デザインと法とが共創し、 均整のある日本の社会創りに貢献します。
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	
行動指針	1. デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。 2. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。 3. デザインと法の意義を国内、海外において継続的に向上させる。	理 念	デザインに関わる者の交流を通じた共創により、 デザインを法で保護し、その価値を高める活動を通じて、 豊かな国民生活の実現に貢献します。
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	1. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供します。 2. デザインを適切に守るための、あるべき法律を検討し、提案していきます。 3. デザインをサステナブルな資産として捉えるように社会に啓蒙していきます。
理 念	デザインと法が響創できる場を提供することによって、 創造立国としての日本の発展に貢献します。	理 念	デザインと法協会
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	デザインと法協会
行動指針	1. デザイン関係者、企業関係者、法律関係者の三者が対話し、討論する場を提供します。 2. より良いデザインの創作を促す法のあるべき姿を構想、実現していきます。 3. デザインと法の力によって、不確実な社会において、日本の未来を切り開いていきます。	理 念	デザインと法協会
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	デザインと法協会
理 念	デザインと法が有する「価値実現」の力を最大限発揮させ、 より豊かな社会を実現します。	理 念	デザインと法協会
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	デザインと法協会
行動指針	1. デザイン関係者、企業関係者、法律関係者の三者が対話し、討論する場を提供します。 2. より良いデザインの創作を促す法のあるべき姿を構想、実現していきます。 3. デザインと法の力によって、不確実な社会において、日本の未来を切り開いていきます。	理 念	デザインと法協会
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	デザインと法協会
理 念	デザインと法が有する「価値実現」の力を最大限発揮させ、 より豊かな社会を実現します。	理 念	デザインと法協会
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	デザインと法協会
行動指針	1. デザイン関係者、企業関係者、法律関係者の三者が対話し、討論する場を提供します。 2. より良いデザインの創作を促す法のあるべき姿を構想、実現していきます。 3. デザインと法の力によって、不確実な社会において、日本の未来を切り開いていきます。	理 念	デザインと法協会
デザインの均整、法の均整によって、 均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。		行動指針	デザインと法協会

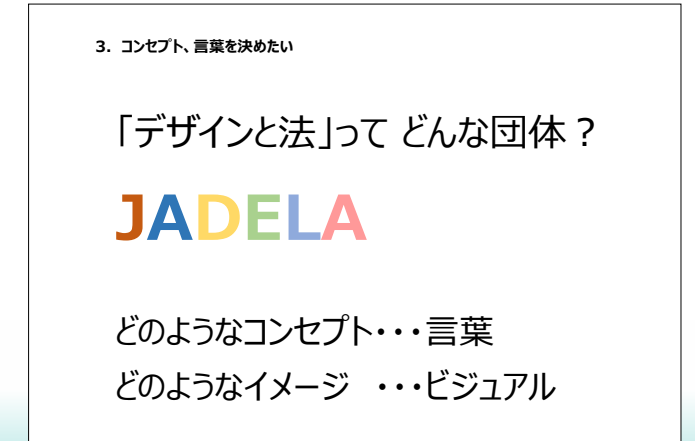
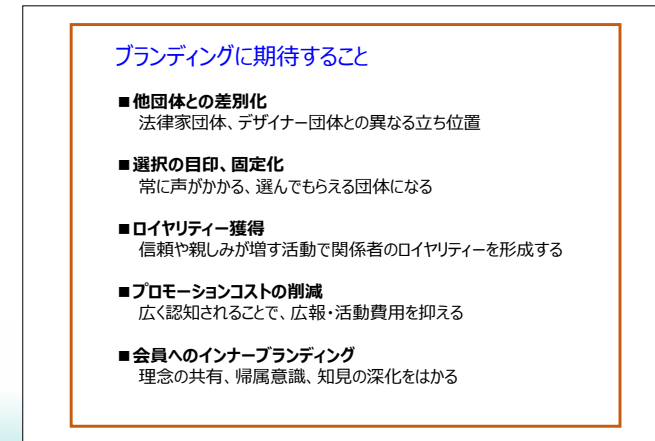
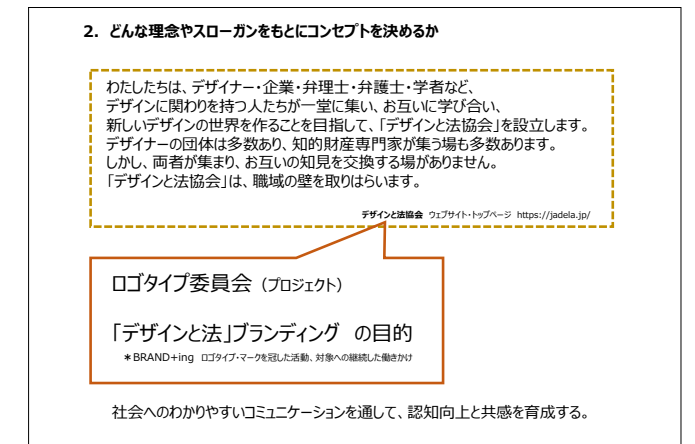
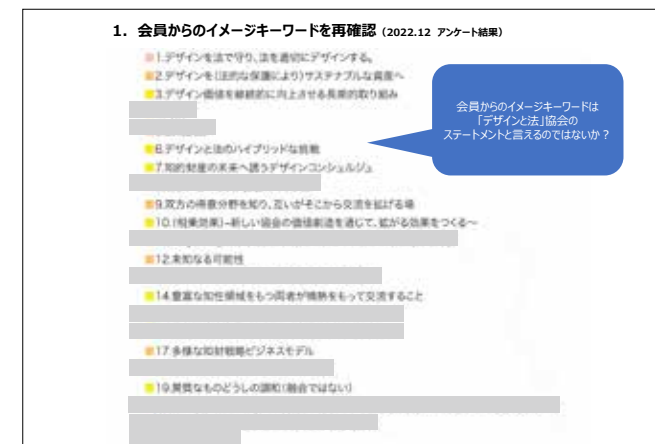
■第7回ロゴ・マーク制作委員会 2023年8月17日 Aグループ発表 各委員のラフデザイン案



■第7回ロゴ・マーク制作委員会 2023年8月17日 Aグループ発表 各委員の理念とラフデザイン案



■第7回ロゴ・マーク制作委員会 2023年8月17日 Bグループ発表 コンセプト案とダグラインコピー案



■第7回ロゴ・マーク制作委員会 2023年8月17日 Bグループ発表 コンセプトとダグラインコピー案

デザインと法 ロゴタイプ・マーク制作委員会 Bグループ  
2023.4.20

Bグループ JADELAのイメージ…コンセプト (2023.3.15)

- 職域を越えて集まっている、協会独自の価値…協働する感じを打ち出せたら
- 異なるものが融合しているが、ひとつにならないことが価値…新しいものが生まれる
- デザインと法、一緒にいることが新しい…デザインにプラスすることで新しいことが可能
- 弁護士、弁理士、デザイナーが集まるオープンな受け皿…プラットフォームというイメージ
- いろんな人たちが集まって楽しい中で…外への発信もしていけるイメージ

**キーワード**

異職域の協働  
独立しつつ融合  
デザインに法をプラス  
受け皿・プラットフォーム  
集まる楽しさと発信

協働  
独立と融合  
法をプラス  
プラットフォーム  
集まる

■意見交換…キーワードからのイメージ

1. ステーション（駅）のプラットフォーム  
皆が集まるステーションのプラットフォーム  
皆で楽しく集まり、出発（発信）していく
2. 基本構造、枠組みのプラットフォーム  
デザイナー、法律家、企業人が集まる基本の枠組み
3. 協働  
集まっていることに意義、一緒に働く、そして一緒に創り上げる“共創”  
協働して共創する

第2回目の意見交換から、何らかのマークは必要という結論

■可視化・イメージについて主な意見

- ・JADERAの5文字は長い、LとD、L&Dとか
- ・DとLが通っているようなマーク、絵画的なマーク
- ・“デ”と“法”、アルファベットのみの視認性良くない、和文は意味が伝わる、漢字の“法”は意味がある、デザインは“デ”しかないか
- ・法律（系）は濃い青とか硬い、やわらかくこいもの、真面目さが出過ぎないもの
- ・“デザインと法”だけでインパクトある
- ・スローガン、ステートメントが必要かも（前回、中西氏発言から）

■マークを何に使うかについて主な意見

- ・何かの認証、証（あかし）
- ・名刺、社章のようなバッジ、話のネタ
- ・ホームページ、パワーポイント、ネットなど発信の際に必要

■宿題  
“マーク”の可視化、イメージ（表現自由）

デザインと法協会とは何か、ひと言でわかる…フレーズ、タグラインコピー

「集まる」「共に存在する」加えて、外に向かって「発信していく」イメージから、

- ・デザイナーと法律家が知恵を出し合いその成果を発信する場
- ・協働・共創・共生しながら、新しいところに出発していく
- ・協働・共創・共生しながら、新しいところに発信していく

↓

短かく、シンプル、ミニマル…何か新しい言葉にならないか！

創作者…創り手  
法律家…護り手

創ると護るが一緒に発信  
創ると護るが集まる場

↓

創り手と護り手が集まるプラットフォーム  
創ると護るが集まるプラットフォーム  
創ると護るのプラットフォームづくり

↓

創ると護る、未来のプラットフォームづくり

■創ると護るの相互作用から  
→ “創護作用” という新しい言葉  
→ 創護作用という新フレーズと他のワードを組み合わせる

“創護作用のプラットフォーム”  
“共生の創護作用”  
“創護未来のプラットフォーム”

弁理士、弁理士は護るだけの職能ではないという意見から、  
知財の“財”、蓄積の“蓄”などの案…“未来”がふさわしい

■Bグループ デザインと法協会のフレーズ（タグラインコピー）  
創と護がつくる未来のプラットフォーム……

**創護未来のプラットフォーム デザインと法協会**

シグネチャー（Signature）の試案

創護未来のプラットフォーム  
**JADELA**  
デザインと法協会

創護未来のプラットフォーム  
**デザインと法協会**  
**JADELA**

4. イメージを決めたい（可視化）

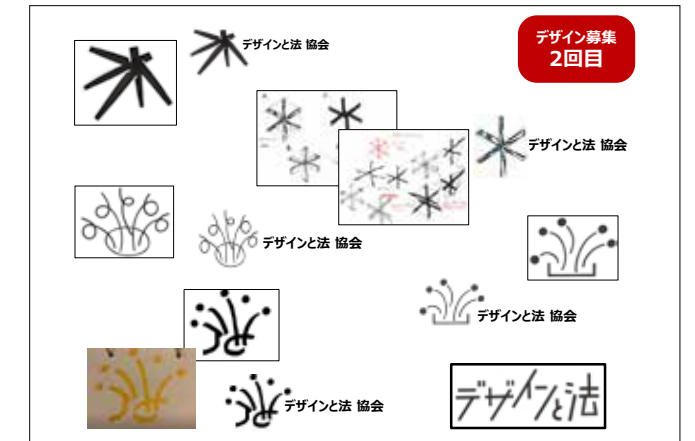
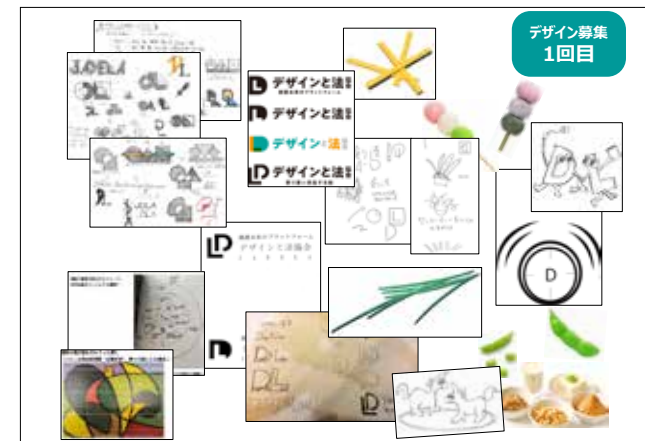
ロゴタイプデザインのイメージ  
皆で楽しく集まり、発信していく… “創護未来のプラットフォーム”

■ロゴタイプ・マークのイメージ（＝評価規準）

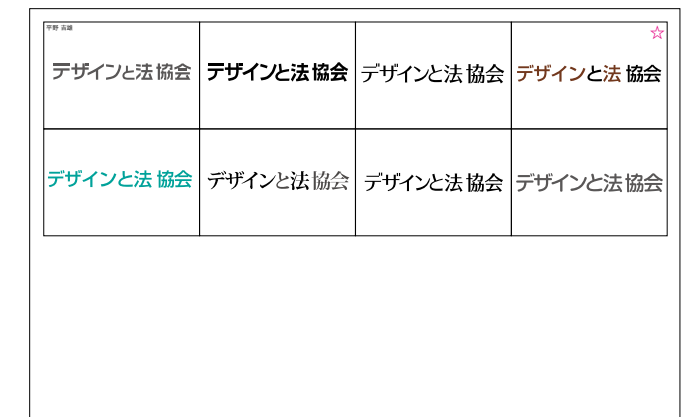
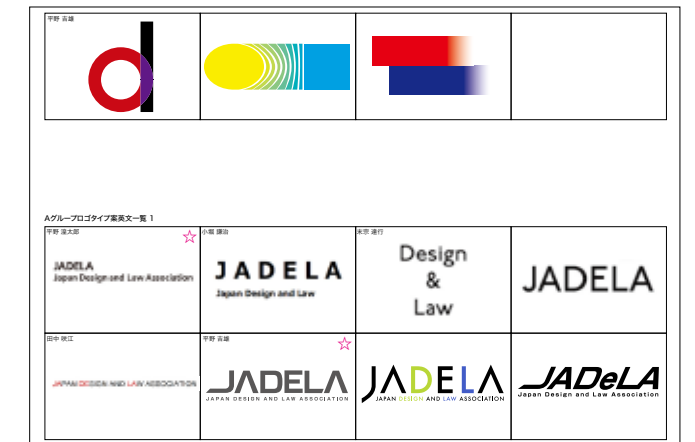
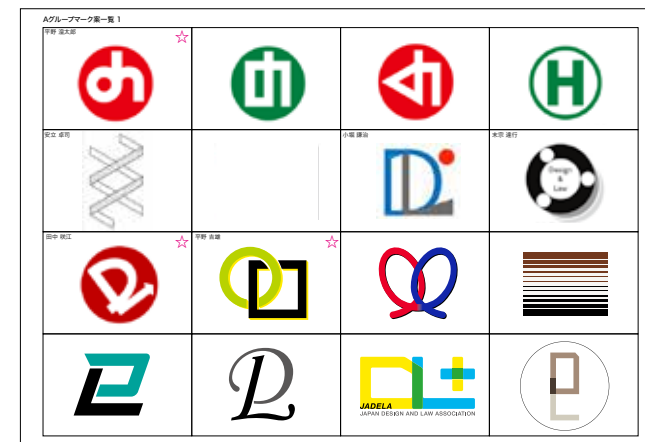
\*イメージ的クワイテリア  
・やわらかくかっこいい⇒硬くない⇒真面目さが出過ぎない  
・（法律事務所のマークに多い）濃い青でない  
・人が集まる（プラットフォーム）イメージ  
・未来（創作者と法律家がつくる）イメージ

\*機能的クワイテリア  
・登録性  
・（誰にでも）意味が伝わること  
・視認性が良いこと  
・名刺、ステーションナリー、ネット画面などでの再現性

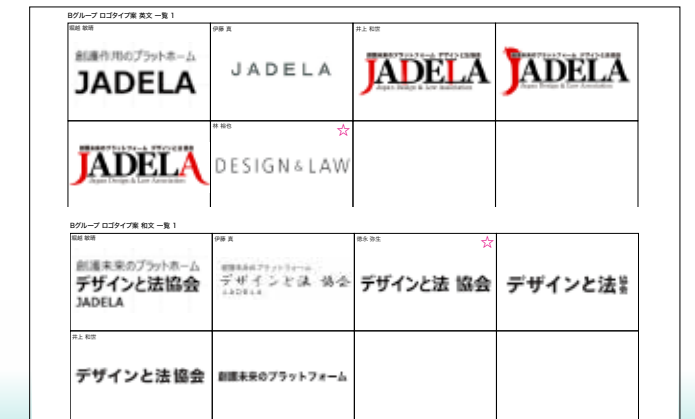
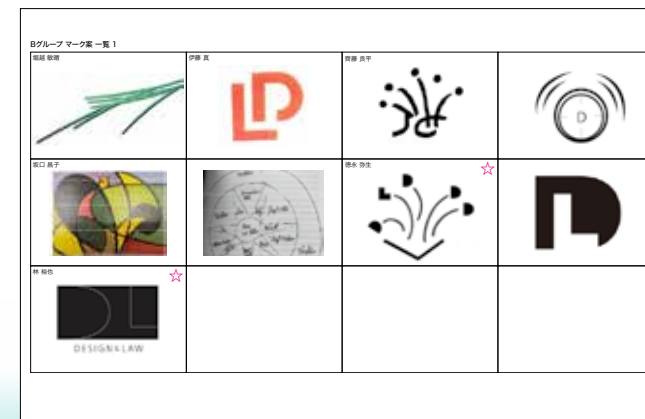
■第7回ロゴ・マーク制作委員会 2023年8月17日 Bグループ発表 ラフデザイン案



■第8回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年9月19日 Aグループ ロゴ・マーク案一覧



■第8回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年9月19日 Bグループ ロゴ・マーク案一覧





■第8回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年9月19日 Aグループデザイン選定 3案

■デザインと法協会 ロゴ・マーク制作委員会 A グループ デザイン候補  
9月19日委員会選定結果より下記のロゴ・マーク候補となりました。

マーク



英文ロゴタイプ

JADELA  
Japan Design and Law Association

JADELA  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

和文ロゴタイプ

デザインと法協会 デザインと法協会



■デザイナー候補  
平野遼太郎  
平野吉雄

■商標調査候補  
小堀謙治  
弁理士、弁護士全員



■第8回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年9月19日 Bグループデザイン選定 2案

■デザインと法協会 ロゴ・マーク制作委員会 B グループ デザイン候補  
9月19日委員会選定結果より下記のロゴ・マーク候補となりました。

マーク



英文ロゴタイプ

DESIGN & LAW

和文ロゴタイプ

デザインと法協会



■デザイナー候補  
林 裕也

■商標調査候補  
弁理士、弁護士 全員



第9回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年10月17日 Aグループ デザイン展開 A 平野湊太郎案

デザインと法協会 ※ 平野 湊太郎 案

理 念

デザインの均整、法の均整によって、  
均整のある日本の社会創りに貢献します。

デザインの均整、法の均整によって、  
均整のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。

行動指針

1. デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。  
2. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。  
3. デザインと法の意義を国内、海外において継続的に向上させる。

デザインと法協会  
マーク・ロゴタイプ提案  
主旨

『デザインと法協会』を広く人々に普及させるためには、その目的、コンセプトを明確にすることが重要であると思います。人々に賛同された時、『デザイン』とは均整(バランス)、『法』も均整(バランス)が大切で、『デザインと法』の両輪を回して、均整のある日本社会づくりに貢献します。と伝えることを考えました。

デザインとは、私たちの生活全般、企業の経済活動、公共的な社会活動に深く関わっています。そして「幸福な世界の可能性を拓いていくもの」と考えます。教育、経済活動、SDGsにも本格的なデジタル社会-知財活用など、様々な分野に展開しています。『デザインと法協会』は、デザイナー、弁護士、企業人、学生、一般の人々が参加し、広く深く議論できる場になりたいと思います。

シンボルマークは、日本の発展を象徴し「日本の知財の発展」を目的としています。デザインの「d」、法協会の「l」をシンボルの融合をシンボルに表しています。そして、多くの人が親しみやすい、目立つデザインにしています。『デザインと法協会』が有来、大まかに表現し「日本の知財活動の主体」となり、このシンボルマークが「知財の発展マーク」として活躍できることを願っています。

ロゴタイプ、タイポグラフィのデザインには、高度な専門性が必要です。種々の感覚でデザインする姿勢ではありません。世界観統一、完成度の高い「ヘルペル」を基盤に「開発」を行っていることも、グローバルなデザイン価値に与える影響であると捉えています。

『デザインと法協会』のロゴタイプは、和文は日本語書体として完成度高く、読みやすい「ヒラギノ角ゴシック体」、英文は世界観、高品質な近代の書体「フutura」を使用することを提案します。『デザインと法協会』が国内のみならず、グローバルな活動に発展することを願っています。

平野 湊太郎

デザインと法協会  
JADELA  
Japan Design and Law Association

デザインと法協会 JADELA Japan Design and Law Association

デザインと法協会 JADELA Japan Design and Law Association

ITEM DESIGN アイテムデザイン

デザインと法協会  
JADELA  
Japan Design and Law Association

名刺デザイン

デザインと法協会  
JADELA  
Japan Design and Law Association

名刺デザイン

ITEM DESIGN アイテムデザイン

デザインと法協会  
JADELA  
Japan Design and Law Association

名刺デザイン

デザインと法協会  
JADELA  
Japan Design and Law Association

名刺デザイン

第9回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年10月17日 Aグループ デザイン展開 B 田中咲江案

PHILOSOPHY 理念 デザインと法協会 ロゴ・マークデザイン案1 田中咲江

デザインと法協会の理念  
「デザインと法が共創し、均整のある日本社会創りに貢献します。」

デザインコンセプト  
SNSアイコンなど種々媒体への使用を想定し、シンプルなデザインとしました。また、モノクロでも使用できるデザインとしました。

MARK DESIGN マークデザイン

MARK

マーク

- ・「D」と「L」を筆で書くことで「デザイン」と「法」に関係する者の繋がりや表現
- ・「D」と「L」の繋がりや形成されたドーム型空間により共創の場を表現
- ・正円に配置し余白のバランスを図ることにより均整を表現(紅色の円を採用することにより日本を表現)
- ・「D」と「L」の繋がりから派生する上向きの矢印により社会創りへの貢献を表現

マーク

マーク

LOGOTYPE ロゴタイプ

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

LOGO ロゴ

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

ITEM DESIGN アイテムデザイン

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

ITEM DESIGN アイテムデザイン

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

LOGOTYPE ロゴタイプ

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

デザインと法協会  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

ロゴ・マークのグループチェックシート

ロゴ・マークのグループチェックシート

ロゴ・マークのグループチェックシート



PHILOSOPHY 理念とコンセプト      デザインと法協会      ロゴ・マークデザイン案-1      平野吉雄

---

デザインと法協会の理念

デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。

デザインと法協会のコンセプト

価値創造

デザインと法と企業の知見により新しいデザイン世界を創る。

MARK DESIGN    マーク・デザイン

# MARK DESIGN

## DESIGN CONCEPT

### デザインコンセプト

この会館はデザインと法律の二つの相通う知見を共有することが目的である。二つの相通う知見を一つに集約する会館だと表現するのを一でしては、デザインはより新しい知見を得るを得ず。法律は社会秩序を守るための規範を遵守することによって成る。互いに違った価値観を有するが、ただこの二つは知的財産で繋がっている。そのお互いの価値は知的財産で共有するを象徴する形として「知事の輪」をデザインに込めた。二つの要素を一つに結びつける形がこの会館に相応しい。これによってシンボルつまり会館のシンボルとなるのがデザインコンセプトである。最も簡潔である。よりストレートに同じように感じることがデザインを目標とする。

デザインテーマ：「シンボルで繋ぐと、安心感あるデザイン」

## MARK

### マーク

知事会館のマークとしては緑のシンボルに表現することで見る人への印象を高めたい。つまり、小さくても大きくても印象の変わらないマークとなる。コンセプトとしては二つの秩序のつながりを互いに結びつく様をどのように表現できるかだ。二つはデザイン、法律、と、自由で厳格さを創造するデザインとしてグリーン、デザインの知的財産を守るための法、および社会の秩序維持としてブラック、シンボルが強いデザインは信頼と安心感ある印象を強く人に設けたい。














LOGOTYPE ロゴタイプ

---

**JADELA**  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

**デザインと法協会**  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

LOGO ロゴ

---

  
**JADELA**  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION




 **JADELA**  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

 **デザインと法 協会**  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

ITEM DESIGN アイテムデザイン

ITEM DESIGN アイテムデザイン

ITEM DESIGN アイテムデザイン

ロゴマークのグループチェックシート		A B グループ 宇野浩典
<p><b>■黒色やダークグレーを主色とする</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>例案「デザイン」の色がほぼ黒い。黒に近い灰色系にも変更します。</p> <p>コメント：印刷製造は「デザイン」による色指定よりも新しい「デザイン」を採用を希望。</p>	<p><b>■ロゴマークの展開？</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	
<p><b>■マウズタイプデザイン</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>「デザイン」のイメージと関係なく「世界市場」に適するところ 「矢印」などの「サイン」が特徴的。</p>	<p><b>●名前？</b> <input checked="" type="radio"/> 無 ●付録？ <input checked="" type="radio"/> 無 ●巻頭？ <input checked="" type="radio"/> 無 ●ホームページ？ <input checked="" type="radio"/> 無</p>	
<p><b>■ロゴタイプデザイン</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> 	<p><b>●広域印刷物？</b> <input checked="" type="radio"/> 無 ●メモマガ？ <input checked="" type="radio"/> 無 ●SNS？ <input checked="" type="radio"/> 無 ●他</p>	
<p><b>■ロゴタイプの文字？</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>JADELA デザインと法協会</p> 	<p><b>■マップル（仕様書）？</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>基本の図のみです。 基本の図のみならず、マル・スロ・カクの仕様の丸み、カーブ・四角の仕様も一丸、統一書体と和文、英文対応ルール、etc.</p>	
<p><b>■ロードコピー</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION 会</p> <p>JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION</p>	<p><b>■マップル（仕様書）日版？</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>「マップル」でフォーマットは出来たが、印刷用データにA4用紙のフリンジ、ローダーが邪魔し、本意までで断念。</p>	
<p><b>■画像やイメージカラー？</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> 		
<p><b>■統一する和文、英文書体？</b> <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>日本語体 Helvetica Neue Times New Roman 英語書体 Helvetica Neue Times New Roman</p>	<p>9月委員会にて担当者決定</p> <p><b>■デザイナー 誰？</b></p> <p>宇野浩典 A 宇野浩典</p> <p><b>■機密調査 誰？</b></p> <p>宇野浩典</p>	
<p>備考</p> <p>各「アイテム」のデザインブラッシュアップは発注まで随時修正可なり。デザイナーの方との意思疎通は毎日行なわれ連絡できる。</p> <p>今後の作業は非常にスムーズ。このシートを完成するとには回答からグループ内での検討は必要と思う。</p>		



<p>出山 法太郎</p> <p>弁護士、弁護士 deyama@abcdef.abc</p> <p>特許業務法人レガート知財事務所</p> <p>〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-1-2 TOHMA高田馬場9階 特許業務法人レガート知財事務所内 T.03 3207 4403 F. 03 3200 9120</p>		<p>出山 法太郎</p> <p>弁護士、弁護士 deyama@abcdef.abc</p> <p>特許業務法人レガート知財事務所</p> <p>〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-1-2 TOHMA高田馬場9階 特許業務法人レガート知財事務所内 T.03 3207 4403 F. 03 3200 9120</p>	 <p>TOHMA DESIGN LAW 特許業務法人レガート知財事務所</p>
--	--	--	--



DESIGN & LAW

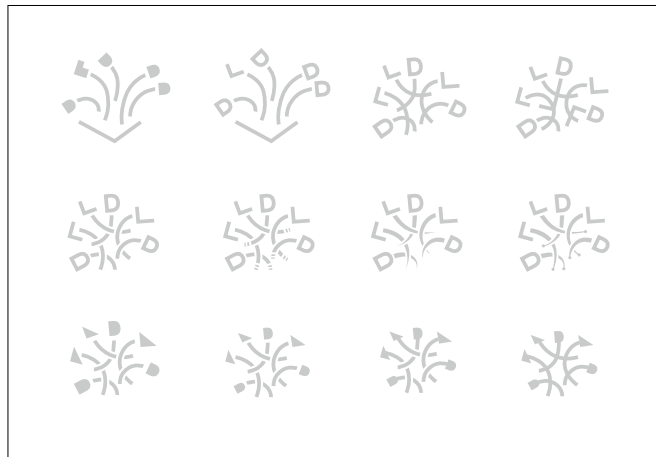
創造未来のプラットフォーム

デザインと法学会 JAPAN DESIGN & LAW ASSOCIATION  
〒183-0215 東京都新宿区高田馬場2-1-2  
TOSHIMA高田馬場1階  
特許業務法人レガート知財事務所内

T. 03 3207 4403  
F. 03 3209 9130  
E. [welcome@jadda.jp](mailto:welcome@jadda.jp)

JAPANESE  
DESIGN & LAW  
ASSOCIATION

第9回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年10月17日 Bグループ デザイン展開 B 斎藤・徳永案



第9回ロゴ・マーク制作委員会 2023年2023年10月17日 各委員の作成したチェックシート

ロゴ・マークのグループチェックシート

■理念やタグラインコピー? ☒ 有 ☐ 無  
理念: デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。  
コンセプト: 価値創造: デザインと法と企業の知見により新しいデザイン世界を創る。

■マークデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
デザインと法が互いの知見で新しい世界を創造することを「知恵の輪」のデザインが象徴する。

■ロゴタイプデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■ロゴタイプの文字? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA デザインと法協会 他

■リードコピー? ☒ 有 ☐ 無  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION 他  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■協会のイメージカラー? ☒ 有 ☐ 無  
CMYK: 100% 0% 0% 0% RGB: 0 0 0 CMYK: 100% 0% 0% RGB: 0 0 0

■統一する和文、英文書体? ☒ 有 ☐ 無  
和文書体 モリサワ ヒラギノ角ゴシック A-OTF リュウミン Pro  
英文書体 Helvetica Neue Times New Roman

■ロゴ・マークの展開? ☒ 有 ☐ 無  
●名刺? ☒ 有 ☐ 無 ●封筒? ☒ 有 ☐ 無 ●看板? ☒ 有 ☐ 無 ●ホームページ? ☒ 有 ☐ 無  
●広報印刷物? ☒ 有 ☐ 無 ●メルマガ? ☒ 有 ☐ 無 ●SNS? ☒ 有 ☐ 無 ●他

■マニュアル (仕様書)? ☒ 有 ☐ 無  
基本的な内容?  
基本的な物のみとする。マーク&ロゴタイプの仕様ルール、カラー印刷の仕様ルール、統一書体 (和文、英文) 仕様ルール、etc.

■マニュアル (仕様書) 印刷? ☒ 有 ☐ 無  
マニュアル式ファイルにまとめる。運営はpdfデータとプリントA4をファイリング。  
ロゴ・マークが浸透した時点で印刷。

9月委員会にて担当者決定

■デザイナー 誰? 平野遼太郎 平野吉雄  
■商標調査 誰? 安立卓司

備考  
各アイテムのデザインブラッシュアップは発表まで随時修正可能とする。デザイナーの方と商標調査の方は日頃より連絡を密にする。  
今後の作業は多岐になります。このシートを完成するには日頃からグループ内での検討は必要と思う。

2023.10.17

ロゴ・マークのグループチェックシート

■理念やタグラインコピー? ☒ 有 ☐ 無  
理念: デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。  
コンセプト: 価値創造: デザインと法と企業の知見により新しいデザイン世界を創る。

■マークデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
デザインと法が互いの知見で新しい世界を創造することを「知恵の輪」のデザインが象徴する。

■ロゴタイプデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■ロゴタイプの文字? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA デザインと法協会 他

■リードコピー? ☒ 有 ☐ 無  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION 他  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■協会のイメージカラー? ☒ 有 ☐ 無  
CMYK: 100% 0% 0% 0% RGB: 0 0 0 CMYK: 100% 0% 0% RGB: 0 0 0

■統一する和文、英文書体? ☒ 有 ☐ 無  
和文書体 モリサワ ヒラギノ角ゴシック A-OTF リュウミン Pro  
英文書体 Helvetica Neue Times New Roman

■ロゴ・マークの展開? ☒ 有 ☐ 無  
●名刺? ☒ 有 ☐ 無 ●封筒? ☒ 有 ☐ 無 ●看板? ☒ 有 ☐ 無 ●ホームページ? ☒ 有 ☐ 無  
●広報印刷物? ☒ 有 ☐ 無 ●メルマガ? ☒ 有 ☐ 無 ●SNS? ☒ 有 ☐ 無 ●他

■マニュアル (仕様書)? ☒ 有 ☐ 無  
基本的な内容?  
基本的な物のみとする。マーク&ロゴタイプの仕様ルール、カラー印刷の仕様ルール、統一書体 (和文、英文) 仕様ルール、etc.

■マニュアル (仕様書) 印刷? ☒ 有 ☐ 無  
マニュアル式ファイルにまとめる。運営はpdfデータとプリントA4をファイリング。  
ロゴ・マークが浸透した時点で印刷。

9月委員会にて担当者決定

■デザイナー 誰? 平野遼太郎 平野吉雄  
■商標調査 誰? 安立卓司

備考  
各アイテムのデザインブラッシュアップは発表まで随時修正可能とする。デザイナーの方と商標調査の方は日頃より連絡を密にする。  
今後の作業は多岐になります。このシートを完成するには日頃からグループ内での検討は必要と思う。

2023.10.17

ロゴ・マークのグループチェックシート

■理念やタグラインコピー? ☒ 有 ☐ 無  
理念: デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。  
コンセプト: 価値創造: デザインと法と企業の知見により新しいデザイン世界を創る。

■マークデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
デザインと法が互いの知見で新しい世界を創造することを「知恵の輪」のデザインが象徴する。

■ロゴタイプデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■ロゴタイプの文字? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA デザインと法協会 他

■リードコピー? ☒ 有 ☐ 無  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION 他  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■協会のイメージカラー? ☒ 有 ☐ 無  
CMYK: 100% 0% 0% 0% RGB: 0 0 0 CMYK: 100% 0% 0% RGB: 0 0 0

■統一する和文、英文書体? ☒ 有 ☐ 無  
和文書体 モリサワ ヒラギノ角ゴシック A-OTF リュウミン Pro  
英文書体 Helvetica Neue Times New Roman

■ロゴ・マークの展開? ☒ 有 ☐ 無  
●名刺? ☒ 有 ☐ 無 ●封筒? ☒ 有 ☐ 無 ●看板? ☒ 有 ☐ 無 ●ホームページ? ☒ 有 ☐ 無  
●広報印刷物? ☒ 有 ☐ 無 ●メルマガ? ☒ 有 ☐ 無 ●SNS? ☒ 有 ☐ 無 ●他

■マニュアル (仕様書)? ☒ 有 ☐ 無  
基本的な内容?  
基本的な物のみとする。マーク&ロゴタイプの仕様ルール、カラー印刷の仕様ルール、統一書体 (和文、英文) 仕様ルール、etc.

■マニュアル (仕様書) 印刷? ☒ 有 ☐ 無  
マニュアル式ファイルにまとめる。運営はpdfデータとプリントA4をファイリング。  
ロゴ・マークが浸透した時点で印刷。

9月委員会にて担当者決定

■デザイナー 誰? 平野遼太郎 平野吉雄  
■商標調査 誰? 安立卓司

備考  
各アイテムのデザインブラッシュアップは発表まで随時修正可能とする。デザイナーの方と商標調査の方は日頃より連絡を密にする。  
今後の作業は多岐になります。このシートを完成するには日頃からグループ内での検討は必要と思う。

2023.10.17

ロゴ・マークのグループチェックシート

■理念やタグラインコピー? ☒ 有 ☐ 無  
理念: デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。  
コンセプト: 価値創造: デザインと法と企業の知見により新しいデザイン世界を創る。

■マークデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
デザインと法が互いの知見で新しい世界を創造することを「知恵の輪」のデザインが象徴する。

■ロゴタイプデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■ロゴタイプの文字? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA デザインと法協会 他

■リードコピー? ☒ 有 ☐ 無  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION 他  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■協会のイメージカラー? ☒ 有 ☐ 無  
CMYK: 100% 0% 0% 0% RGB: 0 0 0 CMYK: 100% 0% 0% RGB: 0 0 0

■統一する和文、英文書体? ☒ 有 ☐ 無  
和文書体 モリサワ ヒラギノ角ゴシック A-OTF リュウミン Pro  
英文書体 Helvetica Neue Times New Roman

■ロゴ・マークの展開? ☒ 有 ☐ 無  
●名刺? ☒ 有 ☐ 無 ●封筒? ☒ 有 ☐ 無 ●看板? ☒ 有 ☐ 無 ●ホームページ? ☒ 有 ☐ 無  
●広報印刷物? ☒ 有 ☐ 無 ●メルマガ? ☒ 有 ☐ 無 ●SNS? ☒ 有 ☐ 無 ●他

■マニュアル (仕様書)? ☒ 有 ☐ 無  
基本的な内容?  
基本的な物のみとする。マーク&ロゴタイプの仕様ルール、カラー印刷の仕様ルール、統一書体 (和文、英文) 仕様ルール、etc.

■マニュアル (仕様書) 印刷? ☒ 有 ☐ 無  
マニュアル式ファイルにまとめる。運営はpdfデータとプリントA4をファイリング。  
ロゴ・マークが浸透した時点で印刷。

9月委員会にて担当者決定

■デザイナー 誰? 平野遼太郎 平野吉雄  
■商標調査 誰? 安立卓司

備考  
各アイテムのデザインブラッシュアップは発表まで随時修正可能とする。デザイナーの方と商標調査の方は日頃より連絡を密にする。  
今後の作業は多岐になります。このシートを完成するには日頃からグループ内での検討は必要と思う。

2023.10.17

ロゴ・マークのグループチェックシート

■理念やタグラインコピー? ☒ 有 ☐ 無  
理念: デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。  
コンセプト: 価値創造: デザインと法と企業の知見により新しいデザイン世界を創る。

■マークデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
デザインと法が互いの知見で新しい世界を創造することを「知恵の輪」のデザインが象徴する。

■ロゴタイプデザイン? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■ロゴタイプの文字? ☒ 有 ☐ 無  
JADELA デザインと法協会 他

■リードコピー? ☒ 有 ☐ 無  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION 他  
JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

■協会のイメージカラー? ☒ 有 ☐ 無  
CMYK: 100% 0% 0% 0% RGB: 0 0 0 CMYK: 100% 0% 0% RGB: 0 0 0

■統一する和文、英文書体? ☒ 有 ☐ 無  
和文書体 モリサワ ヒラギノ角ゴシック A-OTF リュウミン Pro  
英文書体 Helvetica Neue Times New Roman

■ロゴ・マークの展開? ☒ 有 ☐ 無  
●名刺? ☒ 有 ☐ 無 ●封筒? ☒ 有 ☐ 無 ●看板? ☒ 有 ☐ 無 ●ホームページ? ☒ 有 ☐ 無  
●広報印刷物? ☒ 有 ☐ 無 ●メルマガ? ☒ 有 ☐ 無 ●SNS? ☒ 有 ☐ 無 ●他

■マニュアル (仕様書)? ☒ 有 ☐ 無  
基本的な内容?  
基本的な物のみとする。マーク&ロゴタイプの仕様ルール、カラー印刷の仕様ルール、統一書体 (和文、英文) 仕様ルール、etc.

■マニュアル (仕様書) 印刷? ☒ 有 ☐ 無  
マニュアル式ファイルにまとめる。運営はpdfデータとプリントA4をファイリング。  
ロゴ・マークが浸透した時点で印刷。

9月委員会にて担当者決定

■デザイナー 誰? 平野遼太郎 平野吉雄  
■商標調査 誰? 安立卓司

備考  
各アイテムのデザインブラッシュアップは発表まで随時修正可能とする。デザイナーの方と商標調査の方は日頃より連絡を密にする。  
今後の作業は多岐になります。このシートを完成するには日頃からグループ内での検討は必要と思う。

2023.10.17

第10回ロゴ・マーク制作委員会 2023年11月21日 委員アンケート集計 今後のマーク決定予定

委員アンケート集計

林裕也のデザイン1

○シンプルなデザインで、知性と創造性のプラットフォームというイメージを感じることができました。

○デザインとして洗練されており、バリエーションが豊富。商標ではなく、デザインとしてもいると使えそう。

○シンプルで未来的な印象を持ち、今後ますます重要な情報通信分野におけるデザインを象徴している感じがした。

○センスよくまとめているが、情報通信分野の協会のイメージに偏っている。それとディテールを見直す必要がある。例えばマークの縮小した時潰れることなど。

○林さんの案はいちばん現代的。ただし線の太さなど改良の余地あり。

○商標の枠におさまらないデザインの展開もでき、新しいもの(法律・デザイン等)をつつていくことも目指す協会のイメージに合うと思いました。

平野吉雄のデザイン1、2

○デザインと法を象徴するシンボルをシンプルなおと□で表現している点が面白いと思いました。また、それを知恵の輪のように組み合わせるという発想も面白いと感じました。「JADELA」の商標調査・出願も完了しているのであれば、「JADELA」の文字のセットをロゴとしても法的に問題がないということで安心しました。

○「知恵の輪」をモチーフにされていると伺ったが、デザインと法をめぐる諸問題や利益衡量という難題をどのように解くのかという本協会の課題を端的に示しているのではないかと。

○オリジナリティと正統的なVI計画のデザインとしてまとまっている。

○シンプルで力強く覚えやすい。組み合わせで色々な使い方ができそう。

○シンプルかつ目を引きやすい。コンセプトが明確でしっかりしている。

○ロゴは研ぎ込まれたシンプルさがあり、また、モノグラムのようにも用いることができるのがおもしろいと思いました。

徳永弥生のデザイン1

○発想がユニークで、協会が独自の存在であることを表現できていると思う。

○不思議感が斬新、決まった際には議論を呼び話題になる可能性アリそれをメディアに利用する手もあるか？

○独創的であり、●印等に寄せていないところがもう少しブラッシュアップしたら洗練されたデザインになるように思える。協会のワイガヤ感も表現できているのではないかと思う。

○協会の現況及び特徴をシンプルによく表している。ありそうでない造形で目にとまりやすく、協会初期における発信力に貢献しそう。

○徳永さん案はいちばん楽しく協会の成り立ちを表していて目立ちます。

○法律関連の集まりは固いイメージを持たれがちですが、あえてポップなロゴにすることでいるるな人、意見が集まっていることをみせられるかと思いました。

田中咲江のデザイン1、2

○アイコンとして見やすく、わかりやすいうえ、上向きの勢い・動きを感じる。

○シンプルでわかりやすく、かつ、矢印が含まれることでポップさもあって良い。

○理念に沿った分かりやすいデザイン 平面的で2色なので媒体を選ばず使いやすい。

○DesignとLawの頭文字を端的に示しているので、協会をあらわすロゴとしてはわかりやすいと思った。

○理念に沿ったデザインではあるが、完成度にかける。

○DとLの組み合わせ図形でありながら、そこに他の意味も盛り込んでいる提案に感心しました。

平野遼太郎のデザイン1

○わかりやすく汎用性が高くみえる。社会的な発信を担おうと、息の長い活動を行おうとしている協会に相応しい

安定感がある。

○今後の商標登録に対応し、修正が必要かもしれませんが、現状では、正統なロゴ・マーク提案が 他にありません。

○平野コウタロウさんの案はいちばんマークらしい。ただし企業のマークみたいなのが残念。

回答者 13人 11月20日現在

ロゴ・マーク制作委員、全員回答

アンケート集計結果

第1候補 徳永弥生 1-2 林裕也 1-6 田中咲江 1-2 平野吉雄 1-1 平野遼太郎 1-2

第2候補 田中咲江 1-2 平野吉雄 1-4 林裕也 1-1 徳永弥生 1-3 平野吉雄 2-2

第3候補 田中咲江 1-2 田中咲江 2-3 林裕也 1-2 平野遼太郎 1-1 平野吉雄 1-1 徳永弥生 1-2

林さんが断然トップ、続いて徳永さん、平野吉、田中さん、のデザインが、指示を集めた。但しこれらのデザインはさらなるブラッシュアップが必要に感じました。平野吉、田中さん、徳永さんはロゴ・マークの完成度を上げる。林さんはデザインが生きるようにロゴ・マークのVI計画の改善を感じました。私も今現在、さらなる完成度を求めブラッシュアップの作業中です。各デザイナーがブラッシュアップしたデザインを12月の委員会で発表したいと思います。

記 平野吉雄

今後のマーク決定予定

商標調査担当委員の助言でマーク決定と出願までの期間をタイトにすべきことからこのような段取りを考えています。(詳細は別ページ) 但し、これを行うにはまず理事会の承認が必要と思い11月22日の理事会で説明しこの計画の承認をしていただきました。

ロゴ・マーク制作委員会 マーク決定及び出願の手順について

※マークの商標調査からマークの決定、出願まで間を置かずに行うためには、以下のスケジュールを進めることを考えている 1月の理事会でマークを決定し、速やかに出願を行う予定に対し、予め理事会の承認を仰ぎたい。

11月21日 第10回委員会 委員アンケートを検討してデザイン候補を絞り込む

12月19日 第11回委員会 パネルディスカッションのご意見を加味して検討する

●商標調査期間 12月中旬→1月15日 (安立氏の提案)

1月16日 第12回委員会 委員会推薦案を2案決定する。(アンケート結果+パネリストのご意見+商標調査結果より)

●1月24日の理事会にて委員会推薦案を提示し決定を仰ぐ、マーク決定後出願の手続きを速やかに行う

第11回ロゴ・マーク制作委員会 2023年12月19日 Aグループデザインプレゼン A案

デザインと法協会 ※ 平野 遼太郎 案

理 念

デザインの **均整**、法の **均整** によって、**均整**のある日本の社会創りに貢献します。

デザインの **均整**、法の **均整** によって、**均整**のある共創社会、創造立国の発展に貢献します。

行動指針

1. デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。

2. デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。

3. デザインと法の意義を国内、海外において継続的に向上させる。

デザインと法協会

JADELA  
Japan Design and Law Association

ITEM DESIGN アイテムデザイン

デザインと法協会

JADELA  
Japan Design and Law Association

デザインと法協会

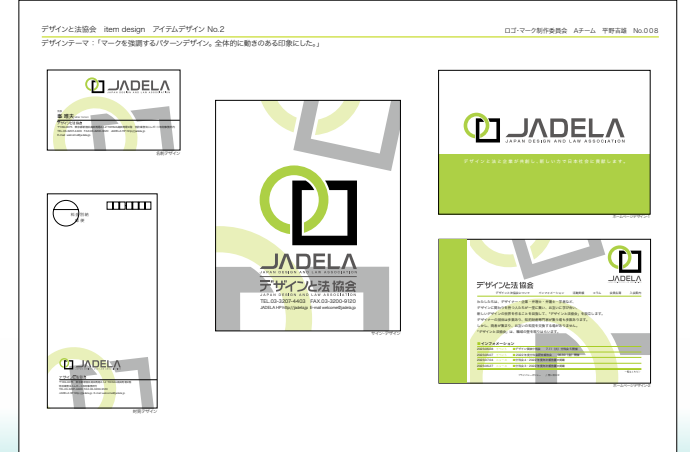
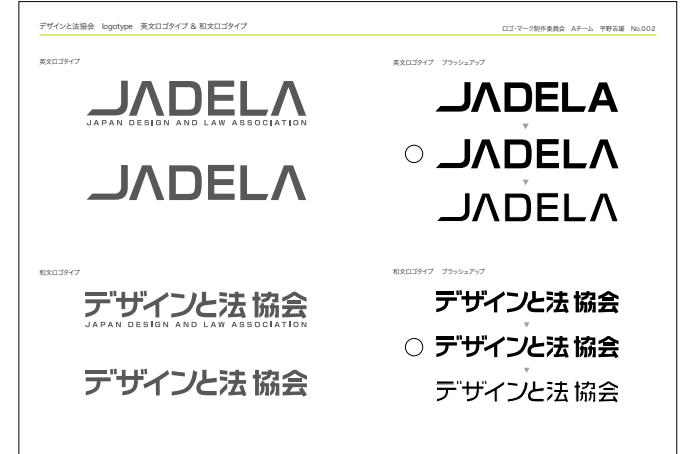
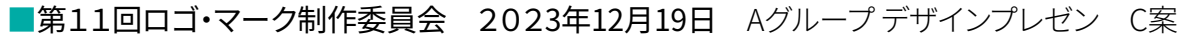
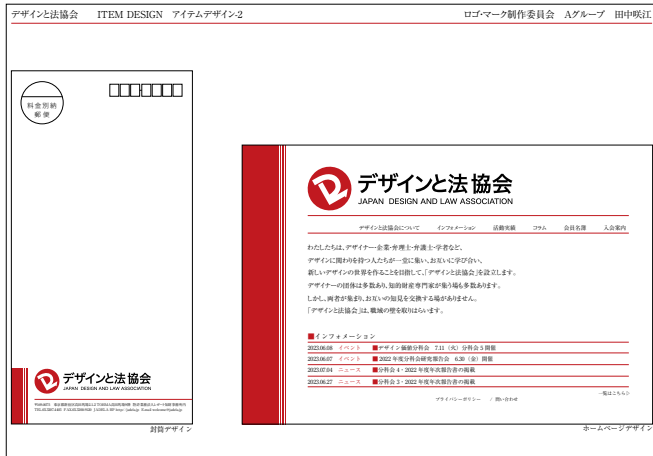
JADELA  
Japan Design and Law Association

ITEM DESIGN アイテムデザイン

デザインと法協会

JADELA  
Japan Design and Law Association

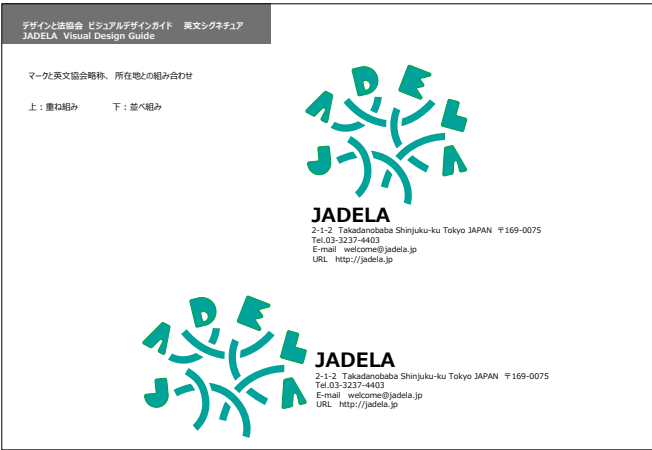
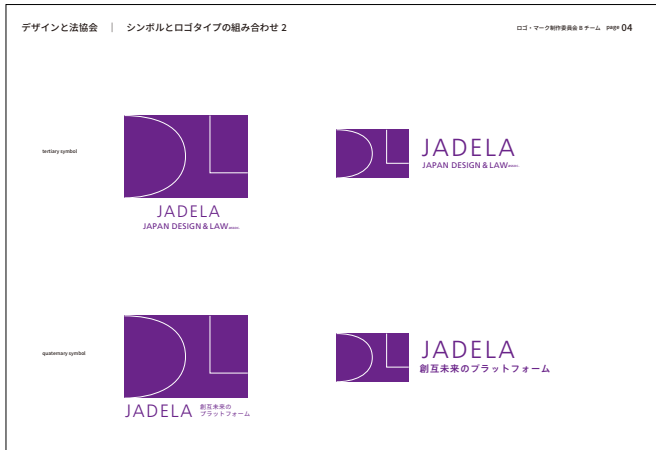
■第11回ロゴ・マーク制作委員会 2023年12月19日 Aグループ デザインプレゼン B案







■第11回ロゴ・マーク制作委員会 2023年12月19日 Bグループ デザインプレゼン E案





第12回ロゴ・マーク制作委員会 2024年1月16日 第2回アンケート-集計結果

ロゴマーク制作委員会											
第2回アンケート集計表											2024.1.10
年齢	性別	職業	方向性の質問		マークの質問						
			①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	40～49歳	男	デザイナー	YES	YES	D	E	A	A	E	C
2	60歳以上	男	弁護士	NO	YES	E	E	E	D	E	E
3	60歳以上	男	デザイナー	NO	YES	D	D	D	D	D	D
4	60歳以上	男	デザイナー	NO	YES	C	C	B	C	E	C
5	50～59歳	男	企業知財	NO	YES	E	B	C	E	E	D
6	40～49歳	男	弁護士	NO	YES	D	D	A	E	D	D
7	60歳以上	男	デザイナー	NO	YES	D	D	C	D	D	D
8	30～39歳	男	法学者	NO	YES	C	C	C	E	E	D
9	40～49歳	女	弁護士	YES	NO	E	B	B	C	E	B
10	30～39歳	男	弁護士	NO	YES	D	D	A	D	D	D
11	60歳以上	男	デザイナー	NO	YES	A	A	A	A	A	A
12	50～59歳	女	弁護士	NO	YES	D	D	D	D	D	D
計											A17 B7 C20 D50 E25
60歳以上 男 番外 デザイナー											NO YES E C C C E C E C E E A17 B7 C20 D50 E30 (仮別付)
集計結果 方向性の質問 ①YES 2 NO 10 ②YES 11 NO 1											マークの質問 A 17 B 7 C 25 D 50 E 30 (仮別付)

デザインと法協会 ロゴ・マーク制作委員会

第2回アンケート集計

先日のパネルディスカッションを踏まえ2つの質問をします。 一つ選び□にVでチェックをお願いします。

1. 今のロゴ・マークは再考し、デザインを新たに作った方が良いですか？ YES **2** NO **10**

2. ロゴ・マークは今ある下記の5案の候補の中から選んで良いですか？ YES **11** NO **1**

■ロゴ・マーク5案についての質問をします。 マークを一つ選び□にA～Eをお書きください。

先日のパネリストの意見と各グループの理念やステートメントを鑑み回答をお願いします。

Aグループの理念例

デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。

Bグループのステートメント

創互未来のプラットフォーム

1. デザインと法協会にふさわしいロゴ・マークはどれですか？ A1 B0 C2 **D6** E3

2. 理念やステートメントが生きているロゴ・マークはどれですか？ A1 B2 C2 **D5** E2

3. 汎用性のあるロゴ・マークはどれですか？(汎用性＝使い勝手) **A4** B2 C3 D2 E1

4. 様々な媒体に合うロゴ・マークはどれですか？(媒体＝名刺や封筒など) A2 B1 C2 **D5** E2

5. 斬新で新しいロゴ・マークはどれですか？ A1 B0 C1 **D5** **E5**

6. デザイン創作者と法律家がつくる未来イメージを感じるロゴ・マークはどれですか？ A1 B0 C2 **D5** E4

7. オリジナル性があるロゴ・マークはどれですか？ A1 B2 C0 **D8** E1

8. 印象に残りいつまでも忘れないロゴ・マークはどれですか？ A1 B0 C2 **D8** E1

9. 今後何十年も使って生き残るだろうと思うロゴ・マークはどれですか？ **A4** B0 C3 D2 E2

10. あなたが使いたいロゴ・マークはどれですか？ A1 B0 C3 **D4** **E4**

計 A 17 B 7 C 20 D 50 E 25 2-D 6-D 8-D

上記集計結果と感想

1. 今後の方針としてロゴ・マークは5案からアンケート結果より候補の順位を決定！！

2. 質問形式の5案のロゴ・マークは、**D**が圧倒的に指示を集めた

3. アンケートの結果では、D,E,C,A,Bという順位となる

感想のまとめ（詳細は後のページに明記）

Aグループ

A案

●長期間の使用に耐える堅牢なイメージ

●「houritsu」のhを採用されている点で共感性が低いと感じています

●マークとして洗練されており、素敵だと思います

●一番ロゴっぽいのが、通常の企業のロゴのように見えてしまう、特にアカチャンホンポのロゴを想起するもう少し独創性がほしい

●A案も、場合によっては、改良が必要だと思う A案は無難である

B案

●長期間の使用に耐える堅牢なイメージ

●DとLの造形的な扱いに関して、検討したい

●協会の理念について議論を尽くした内容をなんとか反映しようとした案と感じました

●状況を知り協会としてふさわしいという意味で法律家とデザイナーの共同作業で作ったBが良い

デザインと法協会

ロゴ・マーク制作委員会

第2回アンケート集計

委員会として今後の大きな方向性のアンケート結果

1. 今のロゴ・マークは再考し、デザインを新たに作った方が良いですか？ YES **2** NO **10**

2. ロゴ・マークは今ある5案の候補の中から選んで良いですか？ YES **11** NO **1**

集計結果

現在のロゴ・マーク5案を進めることに決定

C案

●知恵の輪のアイデアが秀逸 丸と四角で良いかは検討が必要？

●シンプルな2つの図形の組み合わせは、独自性が弱いと感じました

●マークとして洗練されており、素敵だと思います

●わかりやすいのはCです デザインと法を具現化したマークは受け手には入り込みやすく、色の選定も最適だと思います

Bグループ

D案

●ワイガヤ感があり面白い、造形的な精緻化は必要

●独特で印象にも残りますが、POP 調なので少し子供っぽいイメージ

●デザイナーと法律家、企業関係者が一緒に活動していることがよく表れているのが、Dだと感じました

ユニークな構成なので、マークの由来など、話のきっかけにもなりやすいと思います

●使い方に応じてロゴをどの様に用いるか工夫が必要かもしれないが、斬新に思われ協会にふさわしいと考えます。

Web上などではDとLを動かして使うことが考えられると思っています

●協会としてふさわしいという意味で法律家とデザイナーの共同作業で作ったDが良い

●Dを多く推した理由として新しさはないがデザインに印象深さや、話題性はあると思う。協会の新たなスタートとしては良い

●Dのロゴはあまり普段目にしない態様であり、独創的で印象に残る。ただ、もう少し洗練されたイメージを出せるとなお良い

●他の候補案と比較してDは、いかにもロゴマーク然としていないのが面白い

E案

●今時感はあるが、使い方には慎重な検討がいるのではないかと

●ある程度の形状で可変性のある案は、これからの時代にあっていのように感じました

●Eはマークとして洗練されており、素敵だと思います私の感想は「E案」です。新しさと感じ、名刺やパッチなどの汎用性、文字組（ラグライン）などの組み合わせもスタイリッシュでした E案は意匠権の確認の際に、空間デザイン賞のロゴと類似していることもあり確認は必要

●理念Aについて：「企業」で良いのか検討したい。協会が扱うテーマが、私企業に限らず、非営利団体や公共性のあるもの、小さな市民の集まりや個人にも関わるのではと思う(会長の要望、企業知財やインハウスのデザイナー、プラス企業との関わりも大きい)

●理念Bについて：短文にまとまっていて良いが、協会の方向性がこれで良いのか、発信するメッセージとしてこれで良いのか、慎重な検討が必要

●ステートメントについて、教会を説明する短かいコピーについて必要だと思いますので、ステートメントもアンケートで聞いて欲しいと思います

●今まで理念やステートメントの延長でデザインを発想してきたのでこのままこの5案でまとめて良いと思う！但しゆるんな意味でデザインの完成度と汎用性をもっと考慮した計画が必要と思います

●此の様なロゴ・マークは好き嫌いや使いたい使いたくないではなくいかに受け入れるかの問題と思う

●また、再考するという意味では、決定したロゴ・マークのディテールの検討、使い方の検討をするべきと考える

●今回、法律家はデザインの勉強になったがもう少しデザイナーに対して商標申請等のプロセスが理解し易いと良かった

第12回ロゴ・マーク制作委員会 2024年1月16日 第2回アンケートとマーク決定、出願について

●いずれも甲乙つけがたいように思われますが、これは協会の理念についての議論が結論をみないうちにロゴの造形作業に移行したため、どのような基準でどのような観点からロゴを選択するべきなのか分からないということがあるだろうと思うのが正直なところです

●5案のうちからそれぞれ選びましたが、冒頭のとおり、前回のパネルディスカッションでの指摘を踏まえ、再考も有りなのではないかと思っています

●中西先生のお話にもありましたように、中西先生の事務所の進化を加味した新しいロゴも新しい時代の進化に沿った考え方で変えられたとお話があったように、JADELAも5年、10年で進化する協会を想定するならば、変わることも視野に入れるということを明記して制定すれば良いと思います。

●今回のスタートもデザインと法という観点で手探りながら法関係者も参加しての経緯が一番重要だと思いますので、初発足時は時間も考えてこの中から選ぶべきだと考えます。

1. Aグループの理念は結論をみないうちにロゴ・マークを進めたことで選べない

2. Bのステートメントも発信するメッセージとしてこれで良いのか、慎重な検討が必要

3. 5案から決定したロゴ・マークのディテールの検討、使い方の検討をするべきと考える

委員感想の集計

40～49才 男 デザイナー

理念Aについて：「企業」で良いのか検討したい。協会が扱うテーマが、私企業に限らず、非営利団体や公共性のあるもの、小さな市民の集まりや個人にも関わるのではと思うため。

A：長期間の使用に耐える堅牢なイメージ。

B：Aと同様の印象だが、DとLの造形的な扱いに関して、検討したい。

C：知恵の輪のアイデアが秀逸。丸と四角で良いかは検討が必要？

理念Bについて：短文にまとまっていて良いが、協会の方向性がこれで良いのか、発信するメッセージとしてこれで良いのか、慎重な検討が必要では。

D：ワイガヤ感があり、面白い。造形的な精緻化は必要か。

E：今時感はあるが、使い方には慎重な検討がいるのではないかと。

60才以上 男 弁護士

使い方に応じてロゴをどの様に用いるか工夫が必要かもしれないが、斬新に思われ協会にふさわしいと考えます。 Web上などではDとLを動かして使うことが考えられると思っています。

60才以上 男 デザイナー

ステートメントについて、教会を説明する短かいコピーについて必要だと思いますので、ステートメントもアンケートで聞いて欲しいかと思っています。

60才以上 男 デザイナー

今まで理念やステートメントの延長でデザインを発想してきたのでこのままこの5案でまとめて良いと思う！但しゆるんな意味でデザインの完成度と汎用性をもっと考慮した計画が必要だと思います。最後に5案の中から皆さんが納得できるマークを選びたいです。

50～59才 男 企業知財

A：日本語の「houritsu」のhを採用されている点で共感性が低いと感じています。

B：協会の理念について議論を尽くした内容をなんとか反映しようとした案と感じました。

C：シンプルな2つの図形の組み合わせだけに、独自性でやや弱みがあるように感じました。

D：独特で印象にも残りますが、ややPOP 調なので少し子供っぽいイメージと感じました。

E：ある程度の形状で可変性のある案は、これからの時代にあっていのように感じました。

40～49才 男 弁護士

A、B、C、Eはマークとして洗練されており、素敵だと思いますが、デザイナーと法律家、企業関係者が一緒に活動したこと（していること）がよく表れているのが、Dだと感じました。ユニークな構成なので、マークの由来など、話のきっかけにもなりやすいと思います。

60才以上 男 デザイナー

・状況を知り協会としてふさわしいという意味で法律家とデザイナーの共同作業で作ったBとDが良い

・Dを多く推した理由として新しさはないがデザインに印象深さや、話題性はあると思う。協会の新たなスタートとしては良いと考える

・此の様なロゴ・マークは好き嫌いや使いたい使いたくないではなくいかに受け入れるかの問題と思う

・また、再考するという意味では、決定したロゴ・マークのディテールの検討、使い方の検討をするべきと考える

・今回、法律家はデザインの勉強になったがもう少しデザイナーに対して商標申請等のプロセスが理解し易いと良かった

30～39才 男 法学者

いずれも甲乙つけがたいように思われますが、これは協会の理念についての議論が結論をみないうちにロゴの造形作業に移行したため、どのような基準でどのような観点からロゴを選択するべきなのか分からないということがあるだろうのが正直なところです。

40～49才 女 弁護士

5案のうちからそれぞれ選びましたが、冒頭のとおり、前回のパネルディスカッションでの指摘を踏まえ、再考も有りなのではないかと思っています。

30～39才 男 弁護士

Aのロゴは一番ロゴっぽいものの、通常の企業のロゴの一種に見えてしまう、特にアカチャンホンポのロゴを個人的に想起してしまうため、もう少し独創性がほしい。そうするとDのロゴはあまり普段目にしない態様であり、独創的で印象に残る。ただ、もう少し洗練されたイメージを出せるとなお良いように思う。

60才以上 男 デザイナー

A案も、場合によっては、改良が必要だと思う。A案は無難である。B案～E案、それぞれ問題あり。

60才以上 女 弁護士

他の候補案と比較してDは、いかにもロゴマーク然としていないのが面白い。

委員外

60才以上 男 デザイナー

私の感想は「E案」です。

新しさを感じ、名刺やパッチなどの汎用性、文字組（ラグライン）などの組み合わせもスタイリッシュでした。ですがE案は意匠権の確認の際に、空間デザイン賞のロゴと類似していることもあり確認は必要です。(https://kukan.design/j/)

一方、確実にわかりやすいのは「C案」だと思いました。

デザインと法を具現化したマークは受け手には入り込みやすと思いました。色の選定も最適だと思います。中西先生のお話にもありましたように、中西先生の事務所の進化を加味した新しいロゴも新しい時代の進化に沿った考え方で変えられたとお話があったように、JADELAも5年、10年で進化する協会を想定するならば、変わることも視野に入れるということを明記して制定すれば良いと思います。

今回のスタートもデザインと法という観点で手探りながら法関係者も参加しての経緯が一番重要だと思いますので、発発足時は時間も考えてこの中から選ぶべきだと考えます。

マーク決定及び出願の手順について

※マークの商標調査からマークの決定、出願まで間を

置かずに実行するためには、以下のスケジュールで

進めることを考えている 2月の理事会でマークを

決定し、速やかに出願を行う予定。

●商標調査期間 1月17日→2月19日

●2月20日 第13回委員会 商標調査結果とアンケートの順位で検討してデザインを2案にする

●2月28日の理事会にて委員会推薦案を提示し決定を仰ぐ、マーク決定後出願の手続きを速やかに行う

## ■第13回ロゴ・マーク制作委員会 2024年2月20日 理事会へのプレゼン内容検討

テーマ:本協会のロゴ・マークのコンセプトを考えて創ろう! ・理事会への最終プレゼン案検討  
・商標調査結果も加味して検討

### Aグループ

協会の設立趣意を元に理念を明確にすることでロゴ・マークのデザインを考えてきました。

#### 各委員の理念案

- ・「デザインの均整、法の均整によって、均整のある日本の社会創りに貢献します。」
- ・「デザインと法の響創により、日本の社会に貢献します。」
- ・「デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。」

※最終的に時間をかけて話し合ったが1案に決まらず、各自自分の理念でデザインを進める。

### Bグループ

協会の設立趣意をもとに理念よりもう少し具体的なステートメント(言葉)を決めてロゴ・マークを創ってきました。

#### 各委員のステートメント案

- 「皆が集まるステーションのプラットフォーム」
- 「創ると護る、未来のプラットフォーム」
- 「協働して共創する」
- 「創護未来のプラットフォーム」

※ステートメントは「創互未来のプラットフォーム」に決定します。

※ステートメントとはブランドコンセプトを一般の人に分かりやすく伝えるための言葉

### Aグループ 各自の理念からのデザイン

方向性が大きく変わることはないそれぞれの理念をもとに各自がロゴ・マークデザインを立案しそれをデザイナーがロゴ・マークとデザイン展開まで仕上げて提案し3案が選ばれ後にアンケートと商標調査を加味して検討を重ねました。



A



B



C

### Bグループ ステートメントからのデザイン

「創互未来のプラットフォーム」この統一したステートメントで各自がロゴ・マークを立案しそれをデザイナーがロゴ・マークとデザイン展開まで仕上げて提案しアンケートと商標調査を加味して検討を重ねました。




D




E

## ■第13回ロゴ・マーク制作委員会 2024年2月20日 商標調査報告


A,B,C,D,E案全てにおいて本件商標の登録の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の登録可能性は高いものと思料します。

商標調査報告書			
本件商標		商品／役務	商願2023-114177「JADELA/デザインと法協会」に係る指定商品役務と同一の第9類,第41類,第45類の商品役務
調査日	2024年2月1日		
図形分類	条件①【27.5.1.04 and 27.5.1.08 and 27.5.22.92】 条件②【27.5.1.04 and 27.5.1.08 and 26.2.1】 条件③【27.5.1.04 and 27.5.1.08】 条件④【26.1.18 and 27.5.1.04】 条件⑤【27.5.1.04 and 27.5.1.08 and 27.5.22.92】 条件⑥【26.1.18 and 27.5.19 and 27.5.22.92】 その他文字検索「AH」「OH」「DH」		
類似群コード	09G53 11C01 24A01 24E01 24E02 26A01 26D01 41A01 41A03 41C02 41D01 41E02 41E03 41E04 41E05 41F06 42Q99 42R01 42R02		
その他	調査日において有効に存続しているもの		
コメント	調査結果		
	<p>■登録可能性</p> <p>本件商標の登録の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の登録可能性は高いものと思料します。</p> <p>■使用可能性</p> <p>本件商標の使用の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の使用可能性は高いものと思料します。</p> <p>■理由</p> <p>ローマ字「d」をデザイン化した態様の先行商標や赤色の背景に白抜き文字からなる先行登録商標が数多く発見されましたが、いずれもdとhにを結合させて赤色の背景に白抜き文字で構成される本件商標の特徴を備えておらず、一見して識別可能であるため、非類似と考えます。その他、多少なりとも本件商標と共通点のある近似商標が発見されましたので、参考までに下記に掲げます。</p>		

商標調査報告書

本件商標		商品／役務	商願2023-114177「JADELA/デザインと法協会」に係る指定商品役務と同一の第9類,第41類,第45類の商品役務
調査日	2024年2月1日		
図形分類	条件①【27.5.1.04 and 27.5.1.12 and 27.5.22.92】 条件②【27.5.1.04 and 26.3.23】 条件③【27.5.1.04 and 26.1.18】 条件④【26.1.18 and 27.5.1.04】 条件⑤【27.5.1.04 and 27.5.22.92】 条件⑥【27.5.1.04 and 27.5.1.12 and 27.5.22.92】 条件⑦【26.1.18 and 27.5.19 and 27.5.22.92】		
類似群コード	09G53 11C01 24A01 24E01 24E02 26A01 26D01 41A01 41A03 41C02 41D01 41E02 41E03 41E04 41E05 41F06 42Q99 42R01 42R02		
その他	調査日において有効に存続しているもの		
コメント	調査結果		
	■登録可能性 本件商標の登録の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の登録可能性は高いものと思料します。		
	■使用可能性 本件商標の使用の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の使用可能性は高いものと思料します。		
コメント	■理由 ローマ字「D」に矢印を組み合わせた先行登録商標が発見されましたが（下記参考商標1, 2）、いずれもDとLに矢印を結合させて斜めに傾けた本件商標の特徴を備えておらず、一見して識別可能であるため、非類似と考えます。その他、多少なりとも本件商標と共通点のある近似商標が発見されましたので、参考までに下記に掲げます。		

商標調査報告書


本件商標		商品／役務	商願2023-114177「JADELA/デザインと法協会」に係る指定商品役務と同一の第9類,第41類,第45類の商品役務
調査日	2024年2月1日		
図形分類	条件①【26.1.1and 26.4.1 and 26.4.5】 条件②【26.1.1 and 26.4.1 and 26.7.5.01】 条件③【26.1.1and 26.4.1 and 26.7.25】 条件④【26.1.1and 26.4.1.02 and 26.4.5】 条件⑤【26.1.1and 26.4.1.02 and 26.7.25】 条件⑥【26.1.2 and 26.4.5 and 26.7.5.01】 条件⑦【26.1.3 and 26.4.1.02】 条件⑧【26.1.3 and 26.4.2.02】 条件⑨【26.1.3 and 26.4.5 and 26.7.5.01】 条件⑩【26.1.3 and 26.4.5 and 26.7.25】 条件⑪【26.2.1 and 26.7.5.01】		
類似群コード	09G53 11C01 24A01 24E01 24E02 26A01 26D01 41A01 41A03 41C02 41D01 41E02 41E03 41E04 41E05 41F06 42Q99 42R01 42R02		
その他	調査日において有効に存続しているもの		
コメント	調査結果		
	■登録可能性 本件商標の登録の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の登録可能性は高いものと思料します。		
	■使用可能性 本件商標の使用の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の使用可能性は高いものと思料します。		
コメント	■理由 正方形及び正円を斜めに組合せた態様の先行登録がいくつか発見されましたが（下記参考商標1～4）、いずれも円枠と四角枠とが略半分ずつ重なるように構成された本件商標の特徴を備えておらず、一見して識別可能であるため、非類似と考えます。その他、多少なりとも本件商標と共通点のある近商標が発見されましたので、参考までに下記に掲げます。		
	■参考（近似）		



商標調査報告書

本件商標		商品／役務	商願2023-114177「JADELA/デザインと法協会」に係る指定商品役務と同一の第9類,第41類,第45類の商品役務
調査日	2024年2月1日		
図形分類	条件①【27.5.1.04 and 27.5.1.12】 条件②【26.2.7 and 26.4.2 and 26.11.12】 条件③【26.4.18 and 27.5.1.04 and 27.5.1.12】 条件④【26.2.7 and 26.4.2】 条件⑤【26.4.18 and 27.5.1.04 and 27.5.1.12】 条件⑥【26.11.12 and 26.11.10 and 26.4.2】 条件⑦【26.4.12 and 26.2.7 and 26.13.25.92】 条件⑧【26.4.12 and 26.4.2 and 27.5.1.04】 条件⑨【26.4.12 and 26.2.7 and 27.5.1.12】		
類似群コード	09G53 11C01 24A01 24E01 24E02 26A01 26D01 41A01 41A03 41C02 41D01 41E02 41E03 41E04 41E05 41F06 42Q99 42R01 42R02		
その他	調査日において有効に存続しているもの		
調査結果			
コメント	■登録可能性 本件商標の登録の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の登録可能性は高いものと思料します。		
	■使用可能性 本件商標の使用の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の使用可能性は高いものと思料します。		
	■理由 四角形の中に半楕円を有する先行登録商標が発見されましたが（下記参考商標1～5）、いずれも四角形の中に半楕円（D字形状）と長方形（L字形状）を配した本件商標の特徴を備えておらず、一見して識別可能であるため、非類似と考えます。その他、多少なりとも本件商標と共通点のある近似商標が発見されましたので、参考までに下記に掲げます。		

商標調査報告書

本件商標		商品／役務	商願2023-114177「JADELA/デザインと法協会」に係る指定商品役務と同一の第9類,第41類,第45類の商品役務
調査日	2024年2月1日		
図形分類	条件①【26.11.3 and 26.11.12 and 26.13.25.05】 条件②【26.11.3 and 26.11.12 and 26.13.25.04】 条件③【26.11.12 and 25.7.22】 条件④【26.11.3 and 25.7.20】 条件⑤【26.11.12 and 25.7.20】 条件⑥【26.11.3 and 25.7.22】 条件⑦【26.2.1 and 26.11.3 and 26.11.12 and 26.11.7 and 26.11.8 and 26.11.9】 条件⑧【27.5.1.10 and 27.5.8 and 27.5.21】 条件⑨【27.5.1.01 and 27.5.8 and 27.5.21 and 26.3.7】 条件⑩【27.5.1.04 and 27.5.8 and 27.5.21 and 26.2.7】		
類似群コード	09G53 11C01 24A01 24E01 24E02 26A01 26D01 41A01 41A03 41C02 41D01 41E02 41E03 41E04 41E05 41F06 42Q99 42R01 42R02		
その他	調査日において有効に存続しているもの		
調査結果			
コメント	<p>■登録可能性</p> <p>本件商標の登録の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の登録可能性は高いものと思料します。</p> <p>■使用可能性</p> <p>本件商標の使用の障害になると考えられる先行商標は確認されなかったため、調査時点における本件商標の使用可能性は高いものと思料します。</p> <p>■理由</p> <p>複数の円弧が交差する態様の先行登録がいくつか発見されましたが（下記参考商標参照）、いずれも6本の円弧を不規則的に並べた本件商標の態様とは程遠いうえ、本件商標のように円弧の端部に文字を配した構成でもありません。よって、一見して識別可能であるため、非類似と考えます。</p>		

■2月理事会 2024年2月28日 委員会報告と各デザイン提案

- ① D,E 全体から選ぶ ② D,E 全体から選ぶ ③ E 選べない ④ D,E 全体から選ぶ  
⑤ C,D 各グループ1案ずつ ⑥ A,D 各グループ1案ずつ ⑦ A,B 5案を理事会へ 全体から選ぶ  
⑧ A,D 各グループ1案ずつ ⑨ C,D 全体から選ぶ ⑩ B,E 5案を理事会へ  
DE 3 AD 2 CD 2 AB 1 BE 1 E 1 D 7 E 5 A 3 C 2 B 2  
① D,E 全体から選ぶ ② A,D 各グループ1案 ③ C,D 全体+グループ

デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。

Aグループの理念例



A



B



C

創互未来のプラットフォーム

Bグループのステートメント



D



E

D, E 2案 or D, E, A 3案 **D, E, A 決定**

■理事会へデザイン提案 2024年2月28日 各ロゴ・マークデザイン案の感想

A グループ

A 案

- ・長期間の使用に耐える堅牢なイメージ・「houritsu」のhを採用されている点で共感性が低いと感じています。
- ・マークとして洗練されており、素敵だと思います。 ・一番ロゴっぽい、通常の企業のロゴのように見えてしまう、特にアカチャンホンポのロゴを想起する。もう少し独創性がほしい
- ・A 案も、場合によっては、改良が必要だと思う。 ・A 案は無難である。

B 案

- ・長期間の使用に耐える堅牢なイメージ。 ・D と L の造形的な扱いに関して、検討したい。
- ・協会の理念について議論を尽くした内容をなんとか反映しようとした案と感じました。
- ・状況を知り協会としてふさわしいという意味で法律家とデザイナーの共同作業で作った B が良い

C 案

- ・知恵の輪のアイデアが秀逸、丸と四角で良いかは検討が必要？
- ・シンプルな2つの図形の組み合わせは、独自性が弱いと感じました。
- ・マークとして洗練されており、素敵だと思います。 ・わかりやすいのはCです。
- ・デザインと法を具現化したマークは受け手には入り込みやすく、色の選定も最適だと思います。

B グループ

D 案

- ・ワイガヤ感があり面白い、造形的な精緻化は必要。 ・独特で印象にも残りますが、POP 調なので少し子供っぽいイメージ。 ・デザイナーと法律家、企業関係者が一緒に活動していることがよく表れているのが、Dだと感じました。 ・ユニークな構成なので、マークの由来など、話のきっかけにもなりやすいと思います。
- ・使い方に応じてロゴをどの様に用いるか工夫が必要かもしれないが、斬新に思われ協会にふさわしいと考えます。Web 上などでは D と L を動かして使うことが考えられると思っています。
- ・協会としてふさわしいという意味で法律家とデザイナーの共同作業で作った D が良い。
- ・D を多く推した理由として新しさはないがデザインに印象深さや、話題性はあると思う。協会の新たなスタートとしては良い。

- ・D のロゴはあまり普段目にしない態様であり、独創的で印象に残る。ただ、もう少し洗練されたイメージを出せるとなお良い。
- ・他の候補案と比較して D は、いかにもロゴマーク然としていないのが面白い。

E 案

- ・今時感はあるが、使い方には慎重な検討がいるのではないかな？
- ・ある程度の形状で可変性のある案は、これからの時代にあってるように感じました。
- ・E はマークとして洗練されており、素敵だと思います私の感想は「E 案」です。新しさと感じ、名刺やバッチなどの汎用性、文字組（ラグライン）などの組み合わせもスタイリッシュでした。E 案は意匠権の確認の際に、空間デザイン賞のロゴと類似していることもあり確認は必要。



■理事会へデザイン提案 2024年2月28日 ロゴ・マークデザイン D,E,A 案



D案

「楽しくにぎやかに、他業種の人が未来の創造に向けて話し合う場」

ステートメントは「創互未来のプラットフォーム」

法律家、デザイナー、企業人が同じプラットフォームに立ち、楽しくにぎやかに、未来の創造に向けて話し合う場。創互未来のプラットフォームの可視化を試みました。集まり、話し合い、発信する、飛び交う意見、アイデア、情報をイメージした動きのある円弧と協会の英文略称であるJADELAをデザインし組み合わせたものであります。



E案

「矩形の中のプラットフォームに様々なDとLの人々が交流する様を表現」

ステートメントは「創互未来のプラットフォーム」

『デザインと法協会』は、デザインと法律に携わる様々な人々が職域を越えて交流するオープンな“場”（プラットフォーム）です。未来を創造する場づくりを通じて、より良い社会のためデザインと法の新しい価値を発信していきます。シンボルマークは、シンプルな矩形で表現した“場”の中にデザイン（Design）と法（Law）のイニシャルを配置し、2つの理念が集まり、ともに存在し、相互に影響し発信する『創互未来のプラットフォーム』であることを表しています。



A案

「日本国旗のイメージで多くの人々に親しみやすく安心感があり目立つシンボル」

理念 「デザインの均整、法の均整によって、均整のある日本の社会創りに貢献します。」

行動指針 1.デザインを法で守り、法を適切に提案、運用する。 2.デザイナーと法律家、国民とが共創できる場を提供する。 3.デザインと法の意義を、国内、海外において継続的に向上させる。

シンボルマークは、日本の国旗を象徴し「日本の知財の発展」を目的としています。デザインのd、法協会のhイニシャルの融合をシンプルに表しています。そして、多くの人々に親しみやすく、目立つシンボルにしています。いずれはこのマークが認証マークになることも想定しています。

※委員会としてD,E,A案に決定はしましたが、1押しはD案で次にE案、A案と続きます。

■第14回ロゴ・マーク制作委員会 2024年3月19日 ロゴ・マークデザイン決定報告 マニュアル検討

理事会にてD案に決定する

ロゴ・マークデザインD案

「楽しくにぎやかに、他業種の人が未来の創造に向けて話し合う場」



D

ステートメントは「創互未来のプラットフォーム」

法律家、デザイナー、企業人が同じプラットフォームに立ち、楽しくにぎやかに、未来の創造に向けて話し合う場。創互未来のプラットフォームの可視化を試みました。集まり、話し合い、発信する、飛び交う意見、アイデア、情報をイメージした動きのある円弧と協会の英文略称であるJADELAをデザインし組み合わせたものであります。

※ロゴ・マークデザインD案が理事から多くの指示をいただき決定となった。

各案に対して理事のコメント

D案

弁理士とデザイナーと一緒に作り上げたマークとして評価できる。オリジナル性が高い。JADELAのロゴタイプを加えたマークであるので商標的にも好ましい。委員会の提案を尊重したい。

E案

デザイン展開は良いがマークが目立たない。印象に残らない。紫色が気になる他の色を試したい。

A案

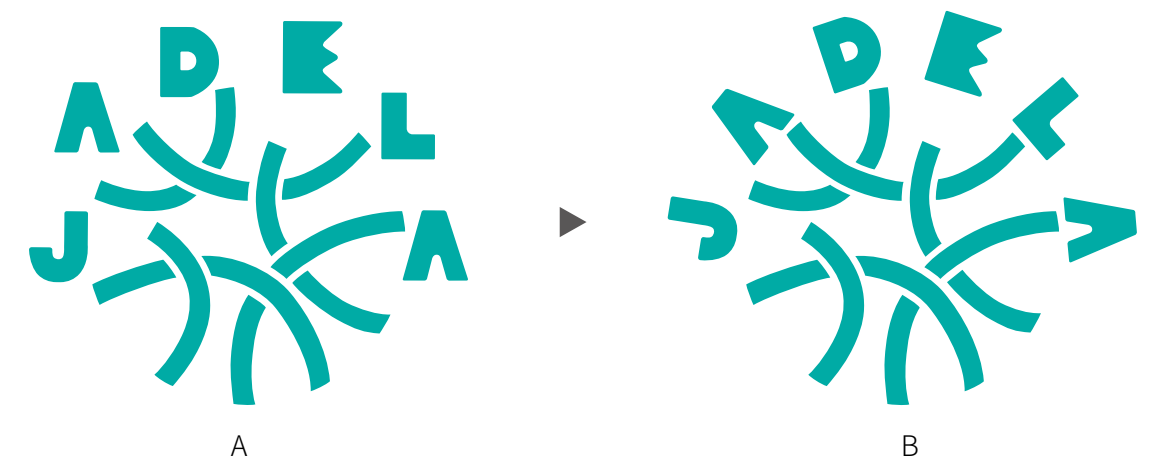
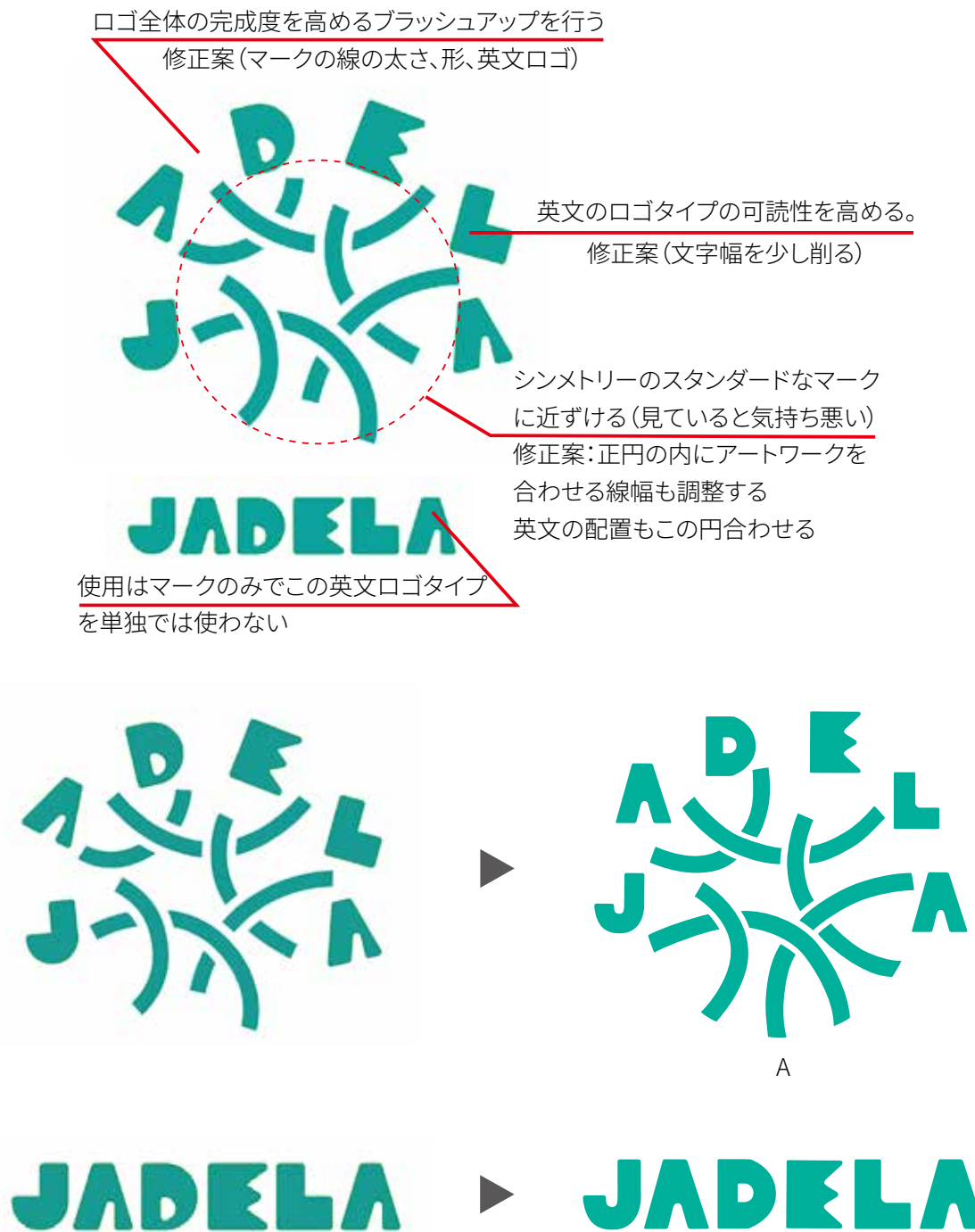
良く目にするマークという感じがする。Gマークの様な安心感はあるがもっとオリジナル性が欲しい。新しく誕生したこの協会のイメージではない。dとhの組み合わせも気になる。DとLの方が良い。

理事会より決定したロゴ・マークの修正のお願い

1. シンメトリーのスタンダードなマークに少し近ずける（見ているとなぜか不安になる、気持ち悪い）
2. マーク全体の完成度を高めるブラッシュアップを行う（線の太さ、形、英文ロゴ）
3. 英文のロゴタイプの可読性を高める

ステートメント 「創互未来のプラットフォーム」について

・「創互」の意味がわかりづらい！



#### ■第14回ロゴ・マーク制作委員会 2024年3月19日 マニュアルの必要性

ロゴ・マークのマニュアルを作り、使い方のルールを決めましょう！

ロゴ・マークが出来上がりましたら、ロゴ・マークの使い方のルールを決めたマニュアルを作りましょう。ルールがないと、ロゴ・マークが使う方の解釈で使われてしまい、一貫性を保つことができなくなってしまいます。変形されたもの、色が変わったもの、背景との関係で見えづらい状態のものなど思いもしない使われ方をされる場合もあります。一般の方へ価値ある活動の印として、一貫性を持って正しくロゴ・マークを表示させましょう。

正しいマークの表示が、ブランドの形成につながっていきます。

ロゴ・マークの使い方のマニュアルをVIマニュアルと読んでいます。VIとは、ビジュアルアイデンティティの略でビジュアルの同一性という意味です。ルールにもとづいて、すべての方が、マークを一貫性も持って使えるようにすることが大切です。名刺や資料のパワーポイントの表紙やヘッダーやフッター。サインデザインなど、様々なツールでの統一させることができますようになります。マークの間違った使い方は、ブランドの統一を損ない、マイナスイメージを与えかねません。

#### マニュアル内容

簡単なマニュアルでしたらこの内容で十分です。

○協会の理念 ○協会のコンセプト ○マークのコンセプト ○マークのカラー ○モノクロ表示 ○ポジ、ネガ表示 ○最小サイズ ○アイソレーション（周りのアキ余白） ○色指定（CMYK、WEB用カラー、Pantone、DIC、TOYO） ○基本書体、ロゴ・マーク使用例として 広告、パンフレット、名刺、サイン、封筒、WEB、SNS、etc.

## ■第14回ロゴ・マーク制作委員会 2024年3月19日 VIマニュアル案検討

### デザインと法協会 VIマニュアル例

理念 デザインと法と企業が共創し、新しい力で日本社会に貢献します。

コンセプト 価値創造 デザインと法と企業の知見により新しいデザイン世界を創る。

### デザインコンセプト

二つの相違う価値を一つに融合する様をどう表現するかをデザインテーマにした。ただこの二つは知的財産で繋がっている。そのお互いの知見を交換し新しい知的財産を共有することが本協会の目的である。その様を象徴する形として「知恵の輪」をデザインソースにした。二つの要素を一つに結びつけるマーク。このシンプルで堂々とした形を強調することがデザインコンセプトである。観る者全てが、ストレートに印象に残るデザインを目指した。

### マーク

シンプルに表現することで見る人の印象を高める狙いがある。小さく使っても大きくしても印象の変わらないマークとなっている。二つの要素を一つにまとまって見える形。二つとはデザイン○、法律□とし、フレッシュで新しい印象のデザインは○のグリーン。知的財産の秩序維持する法律は□のブラック。信頼性と安心感のあるマークになることを大切に設計している。

### マーク-1 (マーク+カラー)



#### マーク仕様ルール -1

マークは基本的に単独使用 不可 ロゴとして使用 可  
色指定 下記の表示どおり (CMYK、DIC)  
基本背景色 白、黒

#### Color printing ink

オフセット印刷	特色印刷
C39%+Y85%	DIC 128
K100%	DIC BLAK
K80%	DIC BLAK 80%

### マーク-2 (モノトーン)



#### マーク仕様ルール -2

マークは基本的に単独使用 不可 ロゴとして使用 可  
モノクロ表示 上記どおり  
基本背景色 白、黒

#### Color printing ink

オフセット印刷	特色印刷
K100%	DIC BLAK
K80%	DIC BLAK 80%

## ■デザインと法協会 VIマニュアル案検討

### ロゴタイプ-1 (英文、和文)



英文ロゴタイプ



和文ロゴタイプ

#### ロゴタイプ仕様ルール -1

ロゴタイプは基本的に単独使用不可  
モノクロ表示 上記どおり  
基本背景色 白、黒

#### Color printing ink

オフセット印刷	特色印刷
K100%	DIC BLAK
K80%	DIC BLAK 80%

縮小10mm制限



### ロゴ-1 (シンボルマーク+ロゴタイプ+カラー)



ロゴ-1



ロゴ-2



ロゴ-3

#### ロゴ仕様ルール -1

ロゴ使用 ロゴ-1、2、3タイプ(マーク、ロゴタイプ単独使用不可)  
使用サイズ 拡大:使用制限なし  
縮小:ロゴ-1左右10mmまで ロゴ-2,3左右15mmまで  
色指定 下記の表示どおり (CMYK、DIC) ロゴタイプはBLACK80%  
基本背景色 白、黒

#### Color printing ink

オフセット印刷	特色印刷
C39%+Y85%	DIC 128
K100%	DIC BLAK
K80%	DIC BLAK 80%

### ロゴ-2 (モノトーン)



#### ロゴ仕様ルール -2

使用サイズ 拡大:使用制限なし  
縮小:ロゴ-1左右10mmまで  
ロゴ-2,3左右15mmまで  
モノクロ表示 上記どおり BLACK80%  
基本背景色 白、黒

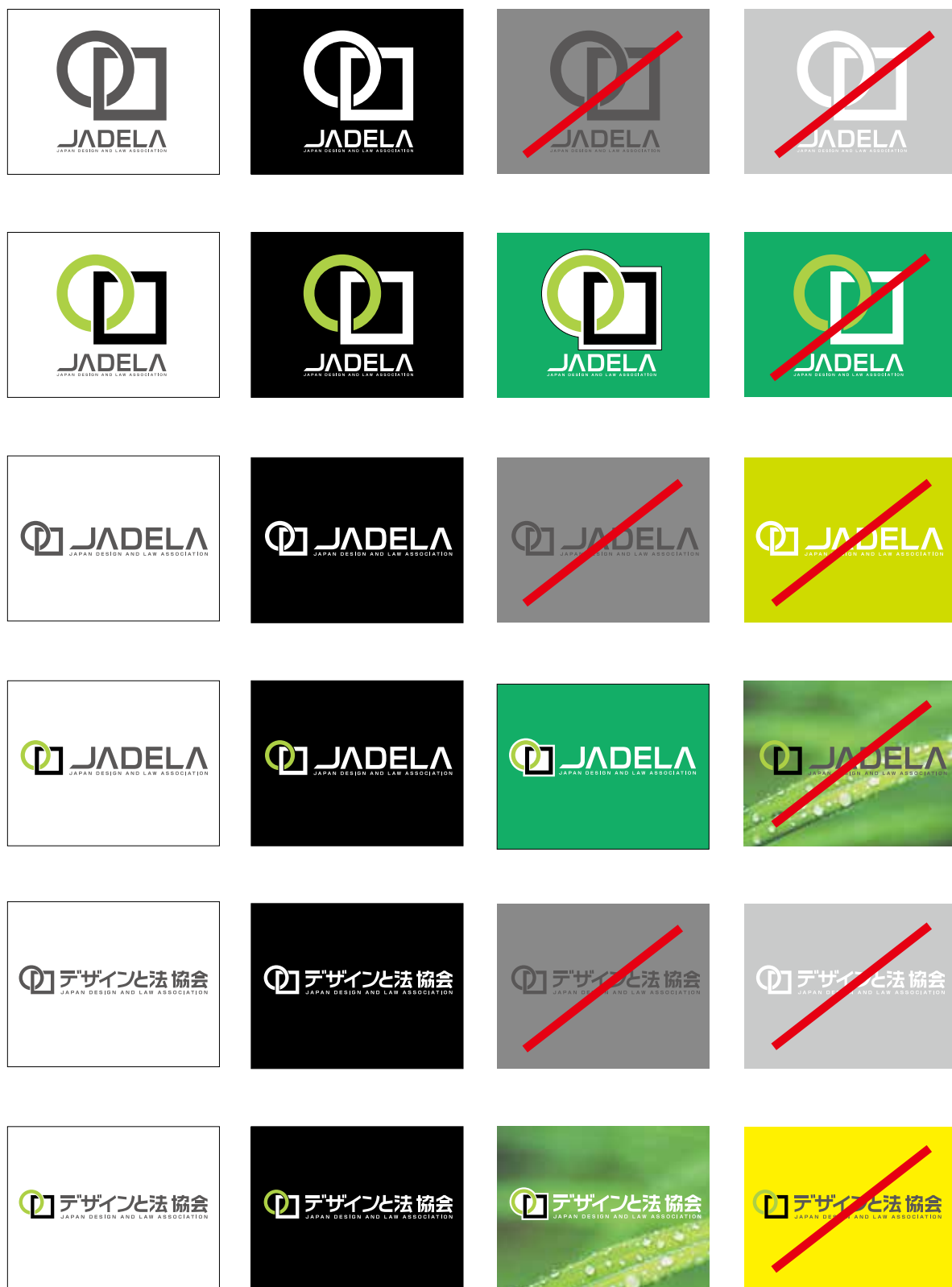
#### Color printing ink

オフセット印刷	特色印刷
K100%	DIC BLAK
K80%	DIC BLAK 80%



## ■デザインと法協会 VIマニュアル案検討

ロゴ 使用注意事項(印刷物などのロゴ周りの色環境など)



※背景色に対しての上記使用例 白、黒 可 ×は特にバック色がグリーン、イエロー、グリーン系の写真、グレーなど 不可 ただし背景がグリーン又はグリーンの写真の場合マークがセパレートの白の場合のみ可

## ■デザインと法協会 VIマニュアル案検討

使用統一書体

和文・英文書体仕様ルール-1

和文書体 モリサワ ヒラギノ角ゴシック A-OTF リュウミン Pro 英文書体 Helvetica Neue Times New Roman

デザインと法協会 JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

デザインと法協会 JAPAN DESIGN AND LAW ASSOCIATION

### 設立趣意

今日の日本は、急速なグローバル化や少子高齢化、また AI や IoT を中核とする技術革新による社会変革の影響を受け、産業構造のみならず文化や生活に至るまで、様々な場面において大きな転換期を迎えている。こうした先行き不透明な環境下において、日本が新たな成長ステージに移行し、より豊かな国民生活を実現するためには、従来型の思考に囚われず新たな発想で積極的にチャレンジし、イノベーション（革新）を実現することが不可欠である。イノベーションの実現には、デザインが大きな役割を果たす。デザインは私たちが大切にしている価値観や思いをカタチにするものであり、デザインを通じて国内外に対して強いメッセージを発信することができる。そして、今後の社会環境の変化によって生じる、様々な課題を解決するための有効な手段となり得る。私たちは、このデザインが持つチカラを最大限に活用したいと考える。そこで私たちは、デザインに関わる様々な立場にある者が一堂に会し、デザインとそれを保護する法制度の重要性を再認識し、その積極的な活用を通じて日本の持続的な発展と、より豊かな国民生活の実現を図ることを目的として、行政や他の関連団体との連携を図りつつ、国内外に対する提案活動や啓蒙活動等を行うために、ここに「デザインと法協会」を設立する。

### Purpose of establishment

Japan today is affected by rapid globalization, a declining birthrate and aging population, as well as social changes caused by technological innovation centered on AI and IoT, and is undergoing major changes in various aspects, not only in its industrial structure but also in its culture and lifestyle. The period is approaching. In this environment where the future is uncertain, in order for Japan to move to a new growth stage and realize a more prosperous life for its citizens, it is necessary to actively challenge new ideas without being bound by conventional thinking, and to innovate. ) is essential. Design plays a major role in realizing innovation. Design gives form to the values and ideas we hold dear, and through design we can send a strong message both domestically and internationally. Furthermore, it can be an effective means to solve various problems that will arise due to changes in the social environment in the future. We want to make the most of the power of this design. Therefore, we will bring together people from various positions related to design, reaffirm the importance of design and the legal system that protects it, and contribute to Japan's sustainable development through its active use. The Design and Law Association is hereby established to carry out proposal activities and educational activities both domestically and internationally, while collaborating with the government and other related organizations, with the aim of realizing a more affluent life for the people. Establish.

### ■今後の制作過程

- 1.理事会で決定の1案を担当デザイナーはマニュアル制作し、次回の委員会でドラフトを提案する。
- 2.理事会で1案に決まらない場合は提案した2案の担当デザイナーはマニュアル制作し、次回の委員会でドラフトを提案する。
- 3.理事会で決定しない場合、次回の委員会はマニュアル項目の検討を行う。臨時理事会の決定を待ち制作に入る。

## ■デザインと法協会 VIマニュアル案検討

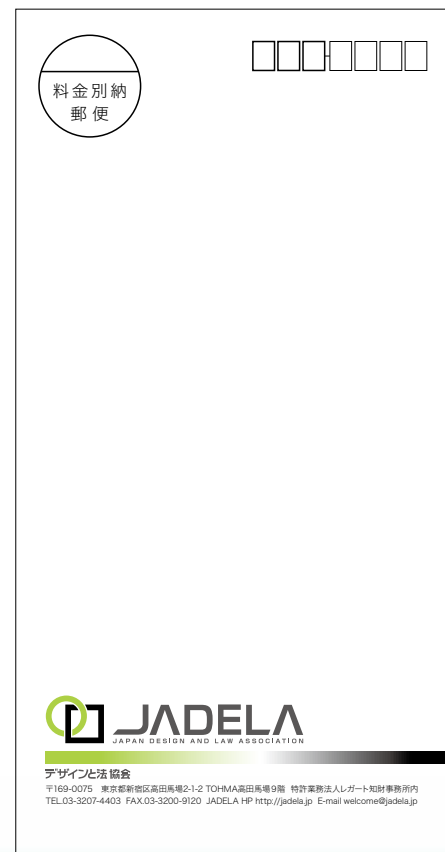
### アイテムデザイン例-1



名刺デザイン



サイン・デザイン



封筒デザイン



ホームページデザイン-1

## ■デザインと法協会 VIマニュアル案検討

決定のロゴ・マークD案マニアル項目について 一部追加することでほとんど完成する。

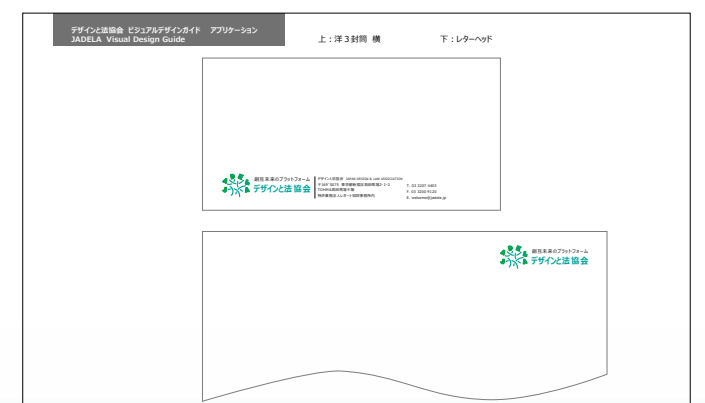
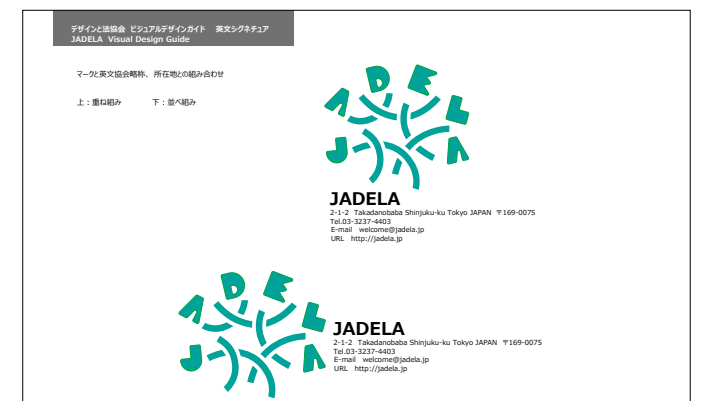
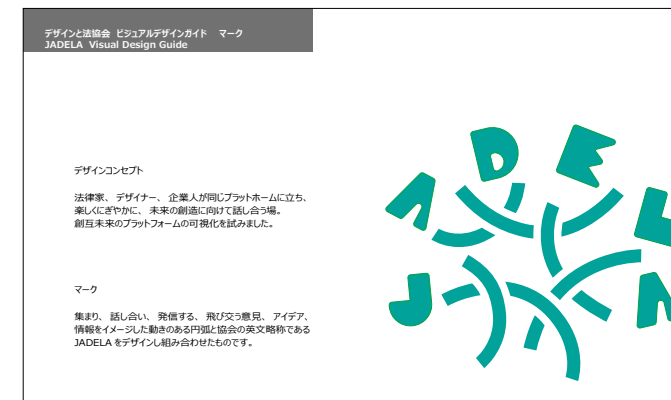
- 1.協会の理念やステートメント●
- 2.協会のコンセプト
- 3.マークのコンセプト
- 4.モノクロ表示●
- 5.ネガ、ポジ表示●
- 6.最小サイズ●
- 7.アイソレーション(周りのアキ余白)
- 8.ロゴ・マークの色指定●
- (CMYK、WEB用カラー、Pantone、DIC、TOYO)
- 9.ロゴ・マーク使用の注意点●
- 10.文章基本書体●
- 11.ロゴ・マーク使用例(広告、パンフレット、名刺、サイン、封筒、WEB、SNS、etc.)

・この協会は企業ではないので、もう少し項目を減らして省略しても良いと思う

### D案のマニアルの項目

- 1.協会のステートメントーOK!
- 2.最小サイズー未
- 3.ロゴ・マークの色指定ー未
- 4.規定書体ーOK!
- 5.ロゴ・マーク使用例ーOK! (広告、パンフレット、名刺、サイン、封筒、WEB、SNS、etc.)

※赤字項目を追加するだけでOK!



## ■第15回ロゴ・マーク制作委員会 2024年4月16日 ロゴマーク運用委員会の方針 決定マークのブラッシュアップ

ロゴ・マーク運用方針検討委員会の今後スケジュール案

4月 ロゴ・マークブラッシュアップ完了

5月 法部門：ロゴ・マーク商標申請 デザイン部門：ビジュアルデザイン検討

・ロゴ、マーク組合せ、住所、ステートメント組合せ等 ・総会お披露目内容の検討・決定・制作

6月末 総会にてロゴ・マークのお披露目（発表内容の検討は5月）

7月 HP への移行

決定マークのブラッシュアップ検討・その仕様について

1、マーク及びロゴタイプのブラッシュアップの方法 カラー、静止、動画の検討

2、ロゴタイプの方向を決める。ブラッシュアップ実行

3、ロゴ・マークの組み合わせ検討／決定

4、ロゴ・マーク商標申請（理事会報告）

5、ステートメントとの組み合わせ

6、総会前に現行 HP にロゴ・マーク等トピックスとして発表（理事会報告）

7、総会にてのお披露目方法・会場にてパネルで発表・リモート参加者も含めスクリーン画面にて展開例

8、HP 改正 or 改修方法の検討（理事会報告・討議） ・新規で創り直す or 現行修正で最低限に

9、マニュアル作りの完成後、ロゴ・マーク運用方針検討委員会は解散する。

## ■2024年度定時会員総会 2024年6月29日

平野委員長が15回の委員会の経緯と最終的に決定したロゴ・マークを定時会員総会にて発表した。

今後はマークをどのように協会へ導入していくかはロゴ・マーク運用方針検討委員会で議論され実行する。

## ■今までの委員会での経過まとめ

○各委員会での立案したコンセプトの検討とラフデザインの検討を一緒に進めた。

### ●イメージキーワードの結論

○グループの検討

・デザインを法で守り、法を適切にデザインする。 ・知的財産の未来へ誘うデザインコンサルジュ。

※異質なもののどうしの調和（融合ではない）など、殆どは設立趣意に即した内容でありこれを元に理念を考える。

○Bグループの検討

・デザイン価値を継続的に向上させる長期的取り組み。 ・デザインと法のハイブリッドな挑戦。

・豊富な知性領域をもつ両者が情熱をもって交流すること。

※会員からのイメージキーワードはすでに「デザインと法」協会のステートメントと言える。

### ●第1～7回のロゴ・マーク制作委員会で議論

・「この協会とはどんな協会なのか？」短的確な文章にする。

・コンセプト案と同時にデザインラフスケッチも行いデザインも含めて検討をした。

・Aグループは理念の検討

理念・コンセプトをより明確にする言葉の検討。設立趣意の内容を踏まえ社会への存在意義を伝える。

・Bグループはステートメントの検討

「デザインと法協会」のブランディング。社会へのわかりやすいコミュニケーションを通して、認知向上と共感を育成。

### ●Aグループの理念

デザインと法とが共創し、均整のある日本社会に貢献します。

デザインと法の響創により、日本の社会に貢献します。

デザインと法の共創で、日本の社会に貢献します。

### ●Bグループのタグラインコピー 創互未来のプラットフォーム

●第7回ロゴ・マーク制作委員会 A,Bグループ デザインラフスケッチ検討

●第7回ロゴ・マーク制作委員会 ロゴ・マークコンセプト発表、検討

●第8回ロゴ・マーク制作委員会 A,Bグループデザイン案検討

●第11回ロゴ・マーク制作委員会 デザインA～E案検討

●第13回ロゴ・マーク制作委員会 デザインA,D,E案決定 VIマニュアル検討

●2月理事会 ロゴ・マークデザインプレゼン デザイン決定 D案

●第14回ロゴ・マーク制作委員会 ロゴマーク決定報告 マニュアル検討

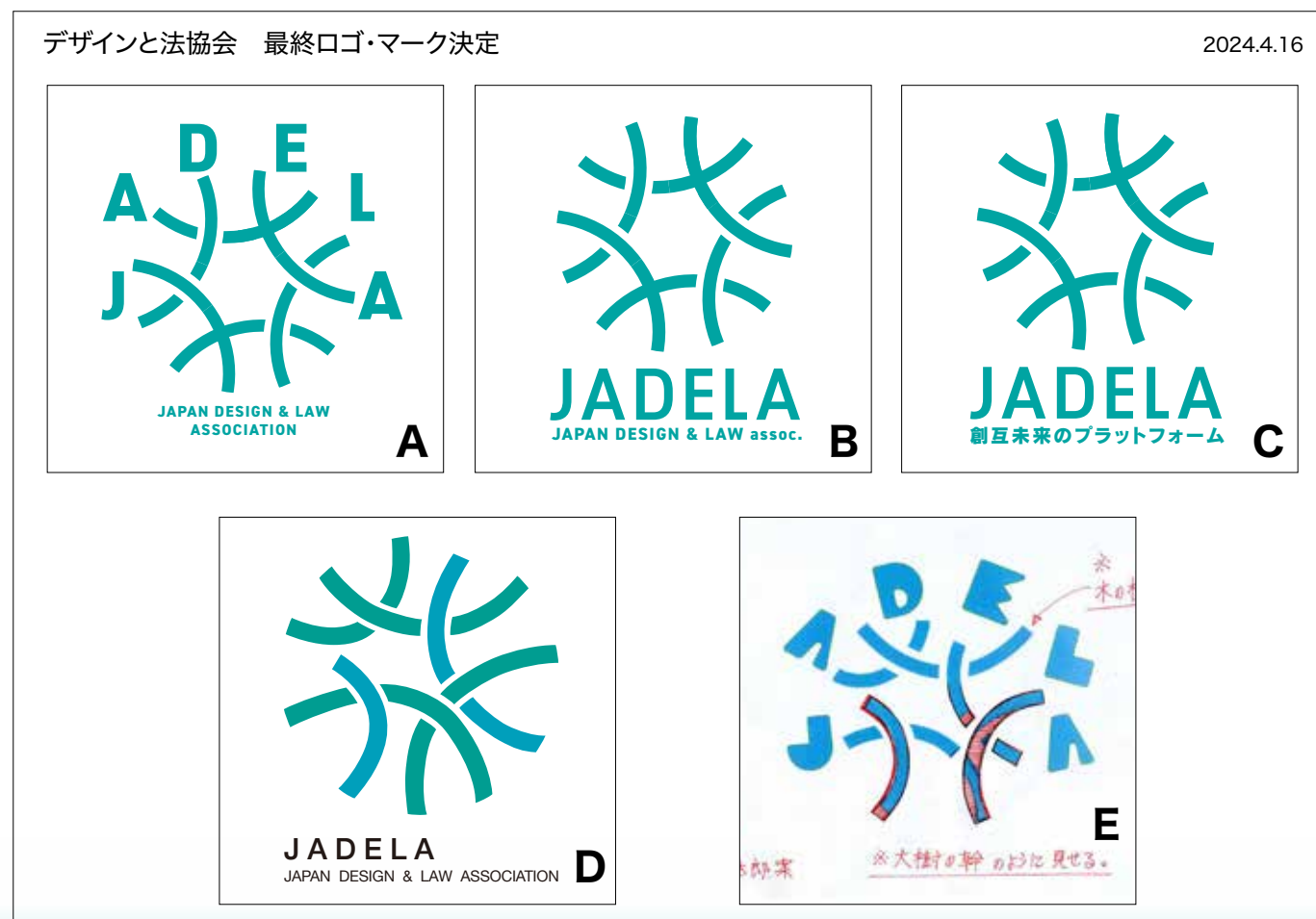
●第15回ロゴ・マーク制作委員会 ロゴマーク運用方針検討委員会の発表 決定マークのブラッシュアップ

●2024年度定時会員総会 ロゴ・マークデザイン決定とその経過報告

以上、上記のラフスケッチ及びデザインは実践編をご覧ください。

これで、ロゴ・マーク制作委員会の活動は終わります。

今後はロゴ・マーク運用方針検討委員会においてより完成度があるマークになる予定であります。





## ■ロゴ・マーク運用方針検討委員会 ロゴ・マークデザイン最終決定

### ●デザインと法協会のステートメント

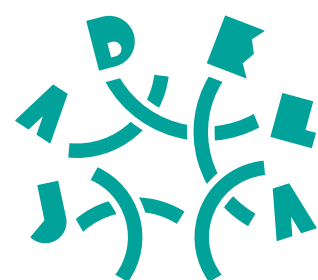
創互未来のプラットフォーム

### ●デザインと法協会のコンセプト

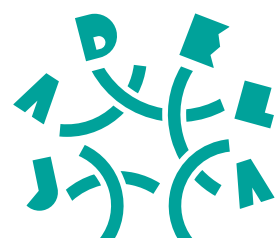
楽しくにぎやかに、他業種の人が未来の創造に向けて話し合う場

### ●最終決定のロゴ・マーク

法律家、デザイナー、企業人が同じプラットフォームに立ち、楽しくにぎやかに、未来の創造に向けて話し合う場。創互未来のプラットフォームの可視化を試みました。集まり、話し合い、発信する、飛び交う意見、アイデア、情報をイメージした動きのある円弧と協会の英文略称であるJADELA をデザインし組み合わせたものであります。



デザインと法協会  
JAPAN DESIGN & LAW ASSOCIATION



デザインと法協会  
JAPAN DESIGN & LAW ASSOCIATION



デザインと法協会  
JAPAN DESIGN & LAW ASSOCIATION

会長  
峯 唯夫  
MINE TADAO

〒101-0065  
東京都千代田区西神田3-3-6  
九段オーシャンビル4階  
弁理士法人レガート知財事務所内  
welcome@jadela.jp  
https://www.jadela.jp

## 編集後記

ロゴ・マーク運用方針検討委員会としては協会の未来のビジョンを踏まえ最終的にはロゴ・マークのその仕様マニュアルまで完成します。後に導入については理事会の審議により進めることとします。尚、今回の目的はデザイン関係者と法関係者がトコトン膝を交え考え、話し合い、作るという事に意義を見出し、ロゴ・マークとして最後に結晶化し、これをどう生かして使うかを考え、学ぶことを目的としました。1年2ヶ月の間各委員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

平野吉雄

デザインと法協会 ロゴ・マーク制作委員会 委員

○委員会オブザーバー

担当理事 井上和世 委員長 平野吉雄

○委員会メンバー

Aグループ 平野湊太郎(グループリーダー) 安立卓司 小堀謙治 末宗達行 田中咲江

Bグループ 堀越敏晴(グループリーダー) 伊藤真 齊藤良平 坂口昌子 徳永弥生 林裕也

書名 JADELA Logo & Mark Production Committee 2024  
デザインと法協会 ロゴ・マーク制作委員会2024【実践編】

2025年 11月28日 初版発行

企画 デザインと法協会 ロゴ・マーク制作委員会

担当理事 井上和世

委員長 平野吉雄

編集協力 安立卓司

デザインレイアウト 平野吉雄

発行 デザインと法協会



デザインと法協会事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-6 九段オーシャンビル4階 弁理士法人レガード知財事務所内  
welcome@jadela.jp <https://www.jadela.jp>